京城日報

發行兼編輯人 泥谷良次郎
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話長六千九番・長六千九番 振替京城三〇〇番

生活改善と住宅 (二)

工學博士 片岡安氏講演

此間元より局部的不統一なる改善運動はあつたが、組織的なものは無かつたのである、我等が斯く無氣力不規則的であつた結果は、德川時代の文物破壞の後を受けてそのまゝになつて居るのである。例令ば衣食住の中衣服の改善等は實に簡單なものであるが、之すら未だ解決されて居ない。前に云ふた通り破壞は改善の前提としてのみ結構である。然るに我國に維新以來何等組織的生活改善運動がなかつた爲、我等の生活は今日も不徹底なる狀態に在る。特に著しきは住宅問題である、此問題に入る前に二三の事を申上るが、一體生活と云ふ事が我國民には甚だしく輕視されて來た。衣は肝に至り袖に至るで、衣は以て寒さを防げば足り、食は以て飢を防げば足る。水を飲み肘を曲げて眠る樂しみ又其中に在りで、衣食住に餘り心を勞さぬ人を以て東洋流の倫理では之を偉人と見て居つた。斯う云ふ觀念が古くから我々の頭を支配して居る。殊に現今の教育者の中には衣食住に對して理解もなければ常識も無いものが多い。こんな先生が教へるから生徒も同じやうな考へになつて了ふ。教育者が之では第二の國民も第三の國民も未來永々浮ぶ瀨が無い。到底組織ある改善運動は不能である。現今のやうな有樣では意義ある生活などが出來るものではない。我國民二千有餘年の努力は此處に逆轉し我等は永久に國際間の落伍者とならねばならぬ。

人に依つては現代の物質文明を呪ふて人間は結局原始時代に歸るべきものであると云ふ。然し其れは生活改善運動をやつて文化生活の極度に達した後に云ふべき事で、差當つての問題としては現代の文明を一層進歩せしむるのがお互の常識を增進する所以である。現代文明を呪ふものは生活の消極的厭世者である。生活の改善は生存の根元で其意義は深く廣く且つ大である。生活改善は例へば木の根であつて文化生活は其果實である。枝である。葉である。東洋道德では衣食住を輕視し、之に心を勞するものを目して『之れ小人の事のみ、大丈夫は宜しく衣食住に超越せよ』と云ふてゐるが、之がそもく間違ひの元である。我々は一日も早くこんな誤れる思想から逃れねばならぬ。勿論生活は衣食住のみを以て成立するものではないが、此三項目はいろ／＼の意味に於て最も重要な問題であるから先づ此三項目を論ずるのである。生活と云ふ意義は廣汎である。凡百の學藝技術すべて生活の一部である。國際關係の密接になつた今日殊に此感が深い。然るに我國では生活の根本問題たる衣食住は勿論の事、百般の事すべてをろそかにされて來た。今ですら既に我國に百歩を先んじてゐる歐米では最近如何にして科學を日常生活に應用せんか、如何にして一層急速に生活を向上せしめんかと云ふ事に多大の努力を爲して居る。然るに我國民の此方面に於ての努力はほんの申譯的である。電話交換手的である。受動的である。他から追はれて漸く最低限度の仕事をして居ると云ふに止まる。實に科學應用の研究に熱度が足りない。之は生活改善運動統一のない一例である。

增加恩給の改正と其の理想

入江恩給局長談

戰鬪や公務で傷を受け若くは病氣となつた者が不具癈疾の程度に達すると、普通恩給の外に增加恩給が支給されるのであるが、該法は舊時代の制定に係り、今日は時代の變遷につれ物價の關係などから考へても甚だ少額に過ぎない。大正九年に從來の給額が倍加されたけれども猶少額に失する嫌ひがある。當局は夙に改正の必要を認めてゐたが、財源の關係上都合がつかなかつたので暫して居たが、漸く增額實行の運びとなつたのは喜ぶべきである。

その內容は各種傷に從ひ上は大將より下兵卒に至るまで同一の金額が支給される事になつたから、現行法に較ぶれば大將において現行額の十割以內、兵卒の中で最も高い階級が十割、海軍の五等卒といふやうな最低階級には約十四、五割の增加に相當するのだ。普通恩給は兵者の官職と在職年數とに依り種々雜多になつてゐるが、此改正上症狀によりて相違がある事になつた。假令ば最低症狀の兵卒額九十六圓の者が戰鬪に依る重症で兩眼を盲した時には其外に增加恩給が百二十圓、それに今度の增加が百八十圓、合計三百九十六圓支給されるのである。

外國の實例に徵すると、英吉利は將官は一時賜金として大將は一萬九千圓、兵卒は四千八百圓以上を支給され、恩給としては其人其場合により定められる。例せば眼を失した者には二千九百圓以上を給し、其他負傷恩給は下士の最高が千四百三十圓、兵卒の最低が四百五十九圓、此外に退役恩給が一時賜金として千四百三十圓、米國では上は大將から下一兵卒に至るまで士卒一樣に病傷の重い者には月額百弗を給し、輕い者には二十四弗を給する。其他保險制度があつて常人の掛金次第によつては二千圓以上二萬圓の金が貰へる。佛國では恩給は最高五千圓、最低千百二十圓、兵卒の最低は五百圓、獨逸では普通恩給の外に戰役のために不具癈疾となつた將校には四百三十二圓以上は百六十三圓を支給し、又兵卒の方には最低二十六圓、下士の最高四百三十二圓、それに加へて不具癈疾の增加恩給が百五十六圓乃至二百十一圓支給される。是等に比較すると我國は未だ甚だ少いといふことが痛切に感ぜられる。海外のは兵制の相違などから來て居るのと、今度の大戰に當り緊急策として定められたものもあるので、我國を英米など、同樣にすることは勿論困難であらうが、せめては獨佛と比較して餘り大差無い程度には上せたいものである。現に今回の改正も最低月額五十圓、年額六百圓程度には進ませたいといふ考へで立案したのであるけれども、何分多數の事で、國庫からいへば年額が餘る額多に達するので、容易に財源が得られないのは遺憾であるが、當局としては國家の施設として國家のための不具癈疾者には少くも最少限度において生活を維持し得る程度の恩給を爲すことが、該制度の根本的理想であり、國家としての義務なりと信ずるものである。

言論界

【時事】 支那の工業教育

近頃支那の工業教育を視察して歸朝した人の談に依れば、浙江の公立工業學校は日本に於ける甲種縣立工業學校程度のものなるが、其設備は我國の學校に及ばざるの點あれども、其教授方法は寧ろ我より進歩せるものあり、支那に於ける最新の新教育を受けたる歐米若くは日本の留學生は、歸國後日本人の想像以上の活動をなし、其熱心なる驚くべきものあり、又杭州に於ける工業學校の教員は主として東京高等工業學校の留學生たりしものにして、其他同地に於ける中心勢力たる工業も矢張十七八名の同留學生に依つて經營せられ、其經營狀頗る見るべきものありと。支那人が外國に學び得たる知識を活用する氣分が學校の教授上にも發揮せられつゝあるは我教育上大に考慮を要すべきことである。

孫氏北伐の利害

(國民) 久しい問題であつた孫氏の北伐計畫は、去る四日徐世昌氏を國賊として之を討伐して眞正の共和を樹つるといふ北伐令の發布に次で、孫氏自身の韶州方面出動となり愈火蓋が切られた。但討伐令を發布した四日は一時世間の想像を裏切つて、奉天軍が長辛店の一角から總崩れになつた其日である。孫段張の間に聯合計畫のあつた事は明白であるが、張氏の慘敗に依り段派瑞徐樹錚一派が、段派の致命傷を設らされた事は勿論、孫氏一派に取つても大に不利な結果となつた。孫氏と陳炯明氏一派とは表面は兎も角裏面の關係は從々險惡となつて居り、殆ど決裂同然の樣子だ。陳炯明は廣西の方もまだ雲南も貴州も孫派に取つて甚だ面白くない。湖南は中立で北伐軍の通過を拒絶しない。故に孫氏の北伐は李烈鈞を先導に大庾嶺の險を踰にして江西に道を取らしむる外はない。

政友會に一言す

(國民) 內閣改造は失敗であつた。其主張者は高橋首相とも政友會幹部とも云ふが、只政黨總裁にのみ囚はれて改造を企てたと簡單に論じ去るのは偏狹である。首相は其の政策から幹部は黨の立場からベストを盡したのである。斯の如く見れば兩者共に同情すべき所がある。只遺つて居るのは主義主張なり政見なりを國家を見なかつた事である。人心は既に首相なり政友會から離れてゐる。此時に當つて强ひて所信を貫かんとする事は身を過り黨を誤るのである。政友會中に一人の達識者はあらう。虛心坦懷吾人の忠告を聞いて再起を期して休息すべきである。

別天地

東京より 目黒行人

◇各國の君主及大統領から全權を委任された代表者が、寄つてたかつて諮へあげた條約ですら、時と場合とによつては、一片の反古紙になるのである。今更義務教育費國庫補助の額をどうして殖れるなど、政府に向つて陳情し躊躇する教育者諸君の生徒面目き加減には、不得要領の如きは些か一笑を要する。

◇高等學校は四十五議會の初めに、海軍縮小によつて若し財政に餘裕が出來たら治水費と義務教育費の補助增額とに充てようと聲明した。併しそれには幾多の前提條件がついて居る。『若しや』『たら』が澤山に含まれて居る。臨時議會も必ず開くとは言明して居らぬ。而も華府會議の結果による條約は未だ批准がすんでをらぬ。これでは曖昧に腕押と云ふ處までも行くまい。

◇教育者諸君はやゝともすると、政治家が教育に對して理解がないと云ふ。成程それは或る程度まで事實であらう。だが、事ほど左樣に教育者が政治に對して理解のないことも事實ではあるまいか。若し教育者諸君が政治に對しても少し理解と自覺とを持つてゐるならば、政治家からさう／＼馬鹿にされずにすむ筈である。イヤこれは失禮、馬鹿にされるのぢやない。も少し敬意を表せらるべき筈である

◇教育者が徒に政治に狂奔するのは固よりほめた話ではないが、選擧權擴張運動とは何ぞや、普選運動とは何ぞや、小學教員の被選擧權獲得運動とは何ぞや、と云ふやうなことに對して、も少し理解と興味とをもつても可さうである。必ずしも是等の運動に贊成せよ、共鳴せよと言ふのではない。是等の運動を全く火星か何かに起れる出來事の如くに見て居ることを改めてはどうだと言ふに過ぎない。

◇お轉婆だ、出娑張りだ、其他形容詞をくつ附けられてゐた婦人達は、第四十五議會をして治安警察法を改正せしむることに成功した。所謂賢妻らしく、所謂良母らしく、所謂淑女らしく、日本の總ての女性が振舞つてゐたならば此改正は恐らく廿世紀に於ても行はれないかも知れない。此改正によつて日本の所謂賢妻良母がどれほどの利益を今直接に受けるかは疑問であるが、兎に角女性の動くべき領域が擴がつた譯である。出娑張りとお轉婆、必ずしも無用ではない。教育者諸君も御婦人達の驥尾に附しては如何です。尤も『最後まで忍ぶ者は救はるべし』と云ふ事もありますねえ。

一世の文豪、大町桂月先生が五十年努力の貴き收穫

桂月全集

メ切迫る

無限の生命に輝く。書齋の一大趣味、人生の一大慰安として洵に空前の活文庫である。家庭に學校に凡そ日本文學を解し得るあらゆる人の書架に燦爛として永久の寶典こ貽るべきてある。今日直ちに御申込を乞ふ。

桂月全集十二卷、九千頁、五百四十二万字、言々句々

第壹巻 美文韻文一　第貳巻 紀行二　第三巻 紀行一　第四巻 史傳一　第五巻 史傳二　第六巻 史傳三　第七巻 史傳四　第八巻 評論隨筆　第九巻 隨筆一　第十巻 修養一　第十一巻 修養二　第十二巻 書簡 詩歌 俳句

高踏無比の內容見本 (小杉未醒氏畫 縮版五十餘頁)

(感想文寄稿者) 巖谷小波 石川諒一 芳賀矢一 沼波瓊音 小笠原長生 田中貢太郎 松本道別 兒山潔 兒玉花外 芥川龍之介 佐藤鐵太郎 笹川臨風 三土忠造 弘田直衛 杉浦重剛 (編輯 加藤美侖 田中貢太郎 神代種亮)

即刻獻呈

月並な予前味噌の內容見本ではない、眞に大町桂月翁を知る名流諸大家が、本全集の成るを聞いて、特に寄せられたる快心の作である。その內容に於て、體裁に於て、堂々天下に獨歩するに足るもの、願くは、御請求の上、熟読玩味せられんことを。御申越次第、

但し見本の御請求は一回ハガキにて單に見本の二字を大書し、その他の文字は省略せられたし。御住所姓名は楷書でハガキの裏の方に明記せられたし。郵券封入の要なければ封書にて見本の御請求は見合せられたし。

會員募集

豫約規定

組織 本全集は非賣品にして豫約會員にのみ頒つものとす
體裁 四六判。天金總布製。(製本堅牢。本版刷袋。箱入。)每巻口繪(コロタイプ版)五枚宛挿入。紙數各卷平均約七百五十頁。裝釘未醒裝、竹山裝、不折裝。
刊行 大正十一年六月より毎月一回宛刊行し十二冊を以て完了す。
申込 希望者は入會金四円を添へ申込の事。
會費 每月拂金四円(要入會金)、一時拂は(入會金不要)金四十五円に割引す。(要送本料)
送料 一冊市內六錢地方十八錢、滿鮮四十錢、十二冊市內七十二錢地方二円十六錢滿鮮四円八十錢支朝六円六十錢
特典 五月卅一日迄の申込者に限り桂月先生の內室揮毫(紙本半切)一枚無代進呈。

入會申込 五月卅一日限

入會者に桂月先生の肉筆書捲無代進呈

申込所 東京市日本橋區馬喰町二 株式會社興文社內 桂月全集刊行會 電話神田八六番 振替東京壹八四四番

新學期開講

創立廿週年 記念大特典あり 見本付會則無代進呈

大日本國民中學會

◎新入會者既に五萬を超ゆ―中等教育の素養なき者は現代社會に於て何事をも爲す能はず何人も來り學べ

東京 神田 電話神田三〇〇二・二〇〇三・二〇〇四番 振替東京二〇〇〇番

大日本國民中學會

北滿材安價提供
板材六分。八分一寸二分板
挽角及原木 各地多數持合
哈爾賓水道街四番地
山口洋行支店
▲出張所 大連 長春

廣告
一、公立普通學校々舍新築工事
右工事敷地高城郡高城面下里
一、見積書寫閱覽所 高城郡廳
右現場說明 大正十一年五月二十六日午前十時ヨリ三時迄
一、入札日時 大正十一年五月二十八日午後一時
一、保證金 入札金額ノ百分ノ十以上
大正十一年五月
高城郡守

ザイベルト顯微鏡 獨逸製
今般入荷あり
京城太平通一丁目二十二番地
大熊醫科器械店
(カタログ進呈) 電話本局二七七三番

最新式 扇風機 多數新荷着
京城黃金町三丁目
山陽電氣商會 (電話一四二五番)

蘇格蘭ウヰスキー
五番印
入西藏治商會 ¥2.00

エビンルード・モーター
漁船 和船 及型遊覽艇に適當
二馬力、三半馬力、二種
東京市日本橋區南傳馬町三丁目
東洋總代理店
日之出商會 (電話京橋四一二一番)

◎交際上手 社交の必要
大々好評
宴會百藝
日本青年通信社
發行所 東京赤坂丹後町九十七 振替東京三四九一番

▼便利此の上なき
◎案手紙辭典
何の苦もなくスラ／＼と思ふ通りの手紙が書ける
特長無類
忽入好評五拾版
新案手紙辭典
耕文堂

朝鮮中等學校入學準備 補習算術
警察用語
試驗問題集
朝鮮奇談と傳說
京城本町二丁目 ウツボヤ書籍店

圖書目錄無代進呈
靴寸法調查爲
大阪北區 博文堂

三宅雪嶺序・法學士星利彥述
ベンネット式若返り運動法
人生の福音！絕對の健康と永久の若々しさ！

ゾラ原作・井上勇譯
呪はれたる抱擁

アナトル フランス 谷崎精二著
舞姬タイス

荻原井泉水著
山水巡禮

谷口梨花著
草鞋の旅

水島重治譯
哀傷詩集 伊勢物語

藤井乙男博士序 勝峰晋風著
閨秀俳家全集

荻原井泉水校 芭蕉俳句全錄

發兌 東京牛込横寺町四三 振替東京四七八六九 取英閣

非侵略條約期限
極東共和國は含まず

【ゼノア電報】ゼノア會議の最終全體會議にて全歐洲非侵略條約期限は八ヶ年の期限とすること右條約の範圍中極東共和國は含まぬこととしたりと聞く

米大統領の聲言
世界の各事件に超然たるを好まず

【華盛頓電報】米國がゼノア會議に參加せず又海牙會議にも參加せざることに就きハーヂング氏は米國商業會議所會頭に對し米國は或る他の土地に於て通商を築き上ぐる爲め米國の工業が破壞せらるゝことを希望せずと說き更に米國は世界の各事件に就き超然とするを好まずと述べたり

ノ卿の誤れる觀察

【倫敦電報】ソースクリフ卿は日本より來る脅威なるものに就き濠洲及びニウジーランド人に警告し日本人は北米及び英領に對し濠洲的眼光を投げ居れり日本移民は世界到る處に侵入し居るなりと說けり

伊ユーゴースラブ協約

【倫敦電報】伊太利及びユーゴースラヴィアは最近一協定を締結せるがユーゴースラブ內に在住する伊國人に嚴格なる待遇を實行する事を約したるが既に伊國政府は第三區より撤兵準備をなし居れり此の協定調印は羅馬にて行はる

愛蘭講和條約調印

【ダブリン電報】シンフエン黨議會にて正式に發表せられたる所によれば愛蘭自由國首班コリンス氏は愛蘭講和條約に調印したり

米貨不買同盟宣言

【紐育電報】ハイチの一部人士は米國政府に對し消極的戰爭を宣告したり之は鐵の戰ひにあらずして印度の英國に對する如く米國商品に對するボイコットなりと

露東支線出兵計畫
至急兵を引揚げよと密電

【北京電報】勞農露國政府は奉直の內爭に乘じ東支鐵道警備を口實とし三個師團の兵を派遣し同鐵道の守備權を掌握せんと計畫したる旨の密報北京政府に達したるを以て政府は狼狽して張作霖氏に然樣の上至急兵を引揚げよと密電したり

極東領土强盜橫行

【浦鹽電報】最近極東共和國領土內より歸來せし旅人の話に依るに同共和國內到る處武裝せし强盜橫行し民心爲に不安を來しあるが此れ等の强盜は民衆が俸給の不渡より食糧に窮し此擧に出づるものなり斯の如き狀態より見て如何に一般經濟狀態が窮極に在るかを察知するを得べしと

吳、奉軍不追窮宣傳
‖徐總統の狙ひ所‖

【北京電報】北京に著したる各方面の情報を綜合するに奉天軍は今や殆んど彈藥乏しく且つ士氣沮喪し最早再起の勇無きもの如く其の山海關に退くは戰鬪するにも安全にして有利の地點を占めんとする魂膽なるが如し又吳氏は奉天軍が關外に退却せば敢て之を追窮せずと宣傳しつゝあるが是が卽ち徐總統の狙ひ處にして徐總統は一面王士珍氏の出廬を慫慂し他面段芝貴氏をして右の意向を奉直兩派に傳へしめ居れりと

奉軍万里長城に退却

【奉天電報】奉天軍は萬里の長城まで退却せり

徐總統張氏を援助
吳氏の勢力を牽制せんとし

【北京電報】吳佩孚氏は舊國會恢復に贊成し徐總統を擁護せざる態度明瞭なれば總統は張作霖氏を援助し吳佩孚氏の勢力を牽制せんとする策を講じつゝありと傳へらる總統が滿州の張作霖氏に直軍と戰はず奉天に引揚ぐるやう秘密裡に命令せる事實あれば張氏に捲土重來を勸告せるものと解せられつゝあり

北京政府外交團に對し
張に欺かるなと注意

【上海電報】北京政府は外交團に對し左の如く警告したり『張作霖は滿州に盤居し內外の交通を阻害し治安を紊すを以て其の官職を褫奪したるを以て東三省內外蒙古察哈爾等には何等彼の權限あるなく是等は民國の領土にして約法に則るものなれば今や張作霖は是等地方を左右し得ざるなり既に其の官職を褫奪し居るを以て之れに欺かれざる樣注意せられたし』と

張徐兩氏秘密契約

【北京電報】張作霖氏は徐世昌氏と秘密契約成り奉天軍は滿州より撤退し奉天に引揚げ其の條件として張作霖氏を滿蒙巡閱使に任命し兵士は中立にする條項ありと而して吳佩孚氏も追擊の態度を執らずと

最後の五分間を忘るな
と李廣東軍司令官張氏に打電

【天津電報】廣東軍司令李烈鈞氏は張作霖氏に打電し曰く最後の五分間を忘るな恐らく自重せよ然らば南方より兵を起すべしと

陳氏獨立の氣勢あり

【上海電報】廣西を引揚げたる陳炯明氏部下一門五萬は(電文不明)參陳の命あらば獨立すべき形勢を示すされど陳炯明氏は自重して動かず是等の兵は惠州の陳氏の許に行くも北伐軍は此の爲め牽制されて進まず漸く孫文氏より離れんとし形勢混沌惠州の土匪は遂に掠奪を爲し軍艦急派せられたり

河南歸德兵火に罹る

【上海電報】河南省歸德の守備兵は五ヶ所に放火し掠奪を恣にし市の大部分は燒失し被害多大なるも外國人は無事なり馮玉祥氏の兵は二十日到著警備に當り居れりと

廣西恢復軍廣西全部を占領

【廣東電報】廣西恢復軍は土匪の應援を得て今日廣西全部を占領したる姿となり又梧州攻略も近きにありとして人心恟々たり

米、吳軍に武器供給

【上海電報】亞米利加人が吳佩孚軍に武器を供給し居るとの風說は次第に明白になり來れり其の證據には開戰以來亞米利加海軍の行動は奇怪の節多く開戰當時上海に在りて亞細亞艦隊ヒュルン號とシヤンルピー號の兩艦が突然上海關の向ひ秦皇島沖に於て支那艦隊と禮砲の交換を爲したり斯くの如きことは殆ど先例無きことにして吳佩孚氏に好意を寄せ居る一證左であり吳軍に武器の供給をなし居ることは殆ど公然の秘密となり居れり

間島一帶に戒嚴令

【滿洲電報】某所著電によれば張作霖氏は十七日吉林省に戒嚴令を敷き間島一帶の地には既に之を行ひつゝあり而して軍隊には動員の準備と警備に對する訓令を命じたりと

第三回關稅委員會開かれん

【上海電報】關稅改正委員會の分科委員會は其の調査を一週間後に終るべく更に第三回の正式會議を開くことゝなれり

中間內閣は逆轉
‖某大臣談‖

【東京電報】某大臣談『現內閣が總辭職の場合一時中間內閣を組織し政權を憲政會に讓り渡さゞるべしとの說最近盛に傳へられ居れるが中間內閣と云ふが如きは憲政上の所謂逆轉にして我國最初の政黨內閣たる政友會內閣が斯かる不利なる事を敢てなすに於ては世間は非難するならん併しながら必ずしも政友會が政權を今直ちに他に讓り渡さざるべからずと信ずる者は殆ど無かるべし若し政友會が政治上の意味にあらずして國家に總辭職したる場合には反對黨に政權を讓り渡し後繼內閣を組織せしむるも決して不當にあらずと信ず』

陸軍豫算
大々的縮小

【東京電報】軍縮に依る軍費節減に就き騎兵隊を五萬四千人に減じ約二千萬圓の剩餘金を得る外支那駐屯軍の整理を斷行するやに傳へられ居れるが支那に於ける我駐屯兵は目下北京、天津、漢口の三ヶ所にして經費年額凡そ二千萬圓を要し居れるが陸軍省に於ては漢口駐屯は明年にて引揚ぐる事に決し之れに要する經費を節約する外陸軍所轄中の千住製絨所を民間に拂ひ下げ靖國神社を陸軍省より內務省に移管替へとなし又衛戍病院の如きも內務省に移管するに決し居れば明年度陸軍省豫算は大分縮小さるゝ事となるべし

海軍豫算遲延

【東京電報】海軍省にては大正十二年度豫算編成に關し既定補充艦以下の建造豫算に就き種々協議中なるが何分にも四國海軍條約は米國が批准を終りたるのみにて其の他の國は未だ何れも保留されつゝあり我國に於ても六月中旬後にあらざれば樞密院の審議を完了し得ざるを以て批准後豫算編成に著手するなるべく多少遲延するに至るべしと

十一師團と八師團交代

【東京電報】善通寺第十一師團は近々八師團(西伯利駐屯)と交代して近く歸還すべし白川師團長は司令部と共に來る六月初旬歸還し直ちに上京し攝政宮殿下に拜謁し賜はり種々戰事狀況を言上し御慰勞の午餐を拜受すべしと

東拓の海林山林買戻
日本紙器との間圓滿解決

【東京電報】東拓會社は豫て北滿海林の山林及び之れに附隨せる帝國製材所電燈其の他一切の設備を百二十五萬圓にて日本紙器に讓渡し現金七十五萬圓を受取りたるが其の後財界不況にて容易に完濟に至らず雙方より委員を舉げて種々折衝を重ねたる結果債務者日本紙器が讓受後同事業に投じたる諸設備現在有形に存在せる部分を二十萬圓と見積り未回收の分百五十萬圓と併せて百七十萬圓と爲し右價格を以て東拓會社が之れを買戻すことに決定し茲に兩者の貸借關係は全く解決したりと

浦鹽在留邦人引揚か
宣言理由發表

浦鹽在留邦人は數年間に亘る極東露國の變局に禍され經濟的存立の基礎を失ひ目下にては我軍の駐屯すると撤退するとに拘らず早晚引揚げざるを得ざる狀態にあるを以て今回宣言と共に左の如き理由を發表せり

撤兵の場合

撤兵直後の過渡期に於ては政情混沌から來る危險と經濟的破滅が極度に達する

一、政權爭奪戰の危險 撤兵と共に在留民は赤白の政權爭奪戰の渦中に陷り生命財產に對し甚しき脅威を受ける

二、赤白の反感的行爲 在留民は駐兵中に釀成された赤白兩派の對日反感から起る排日的行動及び不逞鮮人の跳梁による迫害を受ける

三、政策的迫害 外國の武力的干涉を誘致し白派に有利なる情勢を作らんとする團體が在留民に對し政略的迫害を加へる虞れがある

四、不逞從鮮の脅威 パルチザン中の不良分子馬賊强盜其他不逞從鮮跋扈し在留邦人は其生命財產に對し甚しき脅威を受ける

五、不換紙幣の强制流通 撤兵後露國政權が無價値なる不換紙幣の流通を强制するに至り通商は不可能となる

六、極度の經濟的枯渇 撤兵と共に露國有產階級の多數は亡命し從つて僅かに殘存した露國人の購買力が減少するのみならず我軍の消費から來る經濟上の均衡も失はれる

駐兵の場合

我軍が駐屯中も政情の安定と經濟的復興の見込みはない

一、內亂狀態の繼續 駐兵する限り白色浦鹽政權は存續し赤白內亂狀態は繼續するであらう假に現在の浦鹽政府が倒れても我軍の駐屯を利用して政權爭奪運動を試み孰れにしても政情は容易に安定しまい

二、交通杜絕通商恢復不可能 內亂狀態の繼續は交通連絡を杜絕し極東の一角を孤立的狀態に陷れ需要供給關係の如何に拘らず通商恢復は不可能である

三、投資の不可能 內亂狀態の繼續は政權の統一並に其確立を阻害し投資の機會を與へず產業の復興は望み難い

四、苛斂誅求 現在浦鹽政權は內亂的對抗を繼續するため財源を徵稅に求むるの外ないから在留邦人は其苛斂誅求に堪へない

五、在留邦人の生活窮迫 經濟的窮境にある在留民は現狀のまゝでは益々窮迫を告げ衣食にさへ窮するものが益々增加する

要望

大會は其宣明に基き我政府に左の事項を要望する

一、對露貿易恢復を一日も速かならしむるため之を阻害する一切の事情を除去すること

二、在留民の引揚げに伴ふ損害に對し速かに賠償的救濟をなすこと

三、在留民の將來に於ける對露貿易の地盤恢復のため速かに經濟的援助をなすこと

奉天軍再度退却か
敗兵土匪に變ずるの虞れあり
日本に取り難局益々現出せん

直隸軍は總前吳佩孚氏總本部を灤州糧城に進め其右翼部隊は北塘を經て開平方面に右翼方面は玉田豐潤永平方面に對し前進を開始し愈々奉天軍を關外に驅逐すべき最後の戰鬪を試みてゐる之に對し奉天軍は張作霖氏の本部を灤州に置き第一線を開平兩側に第二線は古冶を徹し設け灤河東岸に本防禦線を築けるのみならず山海關に後方總司令部を設け周到に防禦準備を整へ

奉天軍優勢說

を流布せしめてゐるが奉軍將校連が奉天に於て洩らした處に依ると其士氣は振はず將校等は戰意なく又秩序の弛緩も極度に達し始末で奉天軍官民何れも奉軍の勝利を最早信ずる者なく總退却の場合內に逃げ歸つた兵員が支那特有の掠奪を行ふ事を早くも憂慮し張氏が敗れざる前、兵を收めて歸らん事を各方面で切望して已まざる狀態にある

軍民文治制度

を組織する中央との關係に顧慮して更に中央と絕緣し外國の援助を得る事は絕對不可能であるから軍資の補給も容易ならざる事情にある張氏が尙麾下に數萬の兵を擁するので今日迄幸ひに遲滯せられずに終つてるが其部下の離反は既に豫想さるゝ處で事實支那に在つては敗將に對し軍民悉く離散し去るが通例であるなどの事情等を綜合推測するに奉天軍は直隸軍と

決戰を試みず

折角防禦陣地は設けたが至急灤河以西の兵を撤退し山海關後方に退くの餘儀ない事情と必要に迫られるものと觀察するも妨げなき如く何時奉軍の山海關後方退却の報に接するも決して異とするに足るまい山海關後方撤退後に於ける張作霖氏の地位と運命は今にして逆睹すべくもないが勢ひに附き易き支那の常態と不利とを反復の常なき支那の常態に鑑みれば直に之を逆しまにし退けば必ず土匪と化し

隨所掠奪行爲

を演ずる支那兵員の常習から看て敗軍に至らば張氏の形勢益々不利たる事證せらるゝとなれば東三省滿蒙の形勢を云ひ換れば張氏失脚又は失勢の實證が如何に變ずるかは問題である殊に滿蒙の治安に對する大脅威を構成するに至ることは何人にも想到されたる滿蒙の形勢は一種斷を許さぬ同地方と特殊關係に在る日本と緊切なる關係が生ずる譯である現に張氏の勝利疑問と看破した其の勢力下に於ける各地方民の早くも我官憲の保護を仰がんとする者續出の狀態にある我特殊地域內で變亂掠奪等の急變生じた場合は勿論ないが然らずとするも同地方の治安維持し難き際日本は如何にすべきか急變事態發生せざるに又既に非干涉主義を聲明し嚴守してみる今日干涉がましき處置に出で兼る事は勿論で既に聲明した非干涉主義を存續するは云ふ迄もない事であるが事態斯の如きに至つては之を格守する上に種々復雜困難が生ずる事態なく硏直抗爭局面の推移は日本に取りて尤も研究を要する難局を現出し來るものと見る外あるまいと察せられる(東京)

總督出發

齋藤總督は守屋秘書官を隨へ元山築港竣成式列席の爲め二十二日午前十時十分南大門發列車にて出發せるが同驛頭に見送れる諸官民多數に上りたり

水野總監東上

水野政務總監は伊藤秘書官を隨へ二十二日午前十時南大門發列車にて東上せるが驛頭多數官民の見送りありたり

總督財務部長招待

齋藤總督は二十五日午後六時半より各道財務部長外二十六名を官邸に招待午餐の饗應をなす筈

財務部長會議
‖第一日‖

既報二十二日より二十七日迄六日間開催の各道財務部長會議(第一日)は二十二日午前十一時より總督府第二會議室に於て河內山財務局長統裁の下に開會午前中財務局長より事務上の注意ありたる後各道よりの報告あり正午休憩、午後一時再會午後に引續き各道よりの報告及び稅務の打合せあり同三時散會せり

奉直戰と東拓
何等事業に關係なし
夏秋東拓理事談

張作霖氏が東三省の獨立宣言云々に對して彼是批評を加ふるは今日のところチト早手廻しかも知れない勿論張作霖氏としてはあれ位の覺悟がなくてはなるまい、例へ奉直兩派が決戰して其の結果張作霖氏の敗戰に歸したと假定しても直に延いて我經濟界に直接影響を及ぼすことゝは思はれぬ、而も東拓會社の如きは朝鮮を主とし滿洲方面の如きは最近の關係にあるを以て今之れが爲に直にどうのこうのと足下から鳥の飛び立つやうなことはあるまい、經濟關係と云へば先づ差當り商租權問題であらうが之れとて我國のみではなく他列國との關係もあることであるから單に張氏が失脚したからとて支那政府との間に取り結はれた協商が其爲に權利を喪失すると云ふが如きことはあらう筈がない、既得權は依然として既得權であるから毫も顧慮する必要はない要するに今の處では別に大した影響を我經濟界のみならず東拓の事業等に及ぼすやうのことは斷じてないと信ずる(東京支局)

人造絹糸價値

先般紐育より橫濱某貿易商店に達したる電報によれば最近米國に於ける人造絹絲は益々精巧のものを產出するに至り或は同國全市場より我生絲を驅逐するに至るべきかを憂慮さるゝ向あるも元來人造絹絲は或る木材の纖維より造りたるものにして外見は生絲と一寸區別し難きも一日水氣に觸るれば非常に光澤を損する缺點あるを以て室內裝飾用としては生絲の代用物も恐るべき競爭者たらんも衣服その他外出用として需要に適應し易き製品は矢張り生絲による外なければ之れが爲全然我生絲の市場を失ふが如き事は萬無かるべしと某專門家は語れり

地方富力の增進
咸南茌子洞民文化の恩澤に感謝す

咸南北靑郡茌子洞住民は古來農業を主とせるも地味瘠薄收穫甚だ少く到底生計を維持するに足らず爲めに二十餘名を收容する一私立學校を維持するにも困難の狀態なりしが客年他地方へ移住せし者等から有志者出で水利組合を設立し總督府の補助金を仰ぎ今回其竣工と共に開畓に依る增收從來に數倍し住民の喜び一方ならず盛に移住せし者も歸還する事となり普通學校設立に際しても既に一萬數千圓を醵出するに至り現在就學兒童數二百名の多數に及び舊日の一寒村今や殷富なる村と化せんとしつゝあり住民一同總督府の產業獎勵、教育機關充實等の文化政治の恩澤に浴する事を深く感謝し居れりと

南淸農作良好

南淸に於ける輸出品は落花生已に時期を過ぎ相場も多少下落に傾きつゝあり取引は前月上旬の如き活況を示さず小麥は其の時節に入れたれども未だ不充分と品質不良と合とに依り依然として不振の域に在り生牛は引續き輸出を繼續し居るも牛皮に至りては出廻り少きと內地方面の需要始どなく牛皮の如き却つて內地の相場安く逆輸入の形勢にあり唯綿花のみ依然輸出を見つゝあるも夏季に向ひ相場もチリ安の姿なるが當分に於ける輸出品の大宗たるを失はず南淸の秋季農作見込みは順雨ありしに因りて頗る良好なるが如きを以て九、十月の收穫期に至らば農民の經濟力恢復と共に綿布の需要期に入るべきを以て何れも樂觀に傾きつゝある旨同地領事館支店より報ありたり

江原道地方の麻布綿布交易

物々交換による取引は一部僻遠なる地方にありて而も或種物品の取引に限られ居れるに過ぎざれども江原道方面に於ける麻布綿布の交換は今猶盛に行はれ其の取引額の僅少なるへから朝鮮產織物には麻布、安東布、綿布及北布の四種あり麻布は忠淸北道、安東布は慶北より產出し麻布及北布は咸北布は咸南及江原の二道を以て主產地とす而して其の織布類との交易は麻布及北布のみに行はれ安東布の取引に其の例なきは產地の相違なりと雖も又主產地

文物發達の

半島を語るものなりと云ふべし江原道地方に於ける麻布綿布の交換は既に古くより行はれ何れの時に始まりたるやは不明なれども恐らく綿布類の初めて當地に輸入されたる當時よりのことなるべしと想像せらる元山方面に在りても此の種の交易相當に行はれ中にも高山は江原道淮陽郡に隣接し同地方に於ける主要地として取引盛に行はるゝ所なく就中金化郡昌道里は交易の中心地にして同地方に生產する麻布類は同市場に於て交換取引せらるゝものも多し紋上交易の最繁地たる昌道里市場には三戶の支那商と數多の朝鮮商人あり物貨の

集散殷盛を

極め殊に四月に於ける麻布交換は最も盛に行はれ布は多く此の場合に於て購入せらるゝが如し麻布綿布の交換は例年三月に初まり四月を以て其の最盛期となすが如し而して之れが交易は市場商人によりてせらるゝものあれども京城商人の手に於て行はるゝもの多し交換に要する綿布類は京城地方布木商に仕入れ昌道里市場にて向くるものにありては鐵路平康に至り更に牛馬車等に由りて同地に搬入し市日に於て直接生產者と交易す遠隔不便なる土地に搬行するもの收益多きは言ふまでのことなし

交易の方法

には時價を以て現金を以てし過不足ある場合には現金を以て補足するものと金錢を挾まざるものとの二者あり後者の方法による交換にありては品質の差多なるを以て一樣ならざれども概ね綿布一反に對し普通麻布二反乃至二反半の割合に於て取引せられる商人は朝鮮人及支那人にして中には之れを專門とせるものありて其の交換によりて得たる麻布は更に京城に搬入して客主の手を經て布木商に或は直接布木商に賣却せらる斯くの如くにして麻布交易に供せらるゝ綿布類は夥しき數に上り一支那商の如きは年々七八百俵を下らざる取扱ひをなすと云ふ以て其の交易額の少からざるを知るべし

警察部長會議出席者

二十九日より一週間內務省に於て開催さるべき警察部長會議に出席する總督府よりの出席者は時永警察官、井上京畿、久留島忠北、藤原咸南の各道警察部長及田中警務局事務官の諸氏なるが何れも二十四五日頃出發すべしと

山縣長官動靜

【下關支局特電】東上中なりし山縣關東長官は二十日下關著山陽ホテルに一泊二十一日令息夫人の實家筑前折尾町三好德松氏を訪問一泊廿二日朝下關に歸返しホテルに休憩の上午後一時出帆のバイカル丸にて歸任の途に就く由

辭令 (二十二日附)

朝鮮總督府技師 石塚峻
朝鮮總督府勸業模範場技師 武田總七郎
同 鈴木眞吉
同 三原新三
大正十一年六月五日より六月十四日迄開催の棉花技術員講習會講師を囑託す
朝鮮總督府事務官 笠井健太郎
法務局刑事課長を免ず 法務局勤務を命ず
同 柿原琢郎
法務局刑事課長兼務を命ず

出張命令 (二十日附)

大田中學校教諭 宮崎靜二
奉天、撫順、大連及旅順へ出張を命ず
古蹟調查委員 谷井濟一
出府を命ず

人事消息

▲能島進氏(日本電通取締役大阪支局長)滯城中の處二十二日夜出發歸阪
▲松本茂氏(京南鐵道專務)二十一日夜入城天眞樓へ
▲島中佐(關東軍司令部附)二十二日夜釜山より入城朝鮮ホテル一泊二十三日夜歸任の豫定
▲吉松京城府尹 東京大阪廣島熊本長崎各府縣に於ける都市施設事業視察の爲め二十一日午後七時南大門驛出發往復一個月の豫定
▲久保京管局長 二十二日午前十時元山築港竣工式に列席の爲め出發一泊の上歸任の豫定
▲鈴木一馬氏(東拓京城支店支配人)二十二日夜發東上

京日案內

活字十六字詰一行一回壹圓五十錢 八回以上一割引 …

株券 金融、百五十圓以上 取扱申上候 …

古本 御報次第參上 高價買入 …

男兒 …

恩給 退隱料立替 …

給仕 募集 十四歲より十六歲迄 … 東洋拓殖株式會社京城支店

古本 誠實買入御報參上 京城本町二丁目 文光堂

恩給 年金退隱料扶助料供託 …

觀相 石龍子先生直傳 …

半額 …

ほね つぎ …

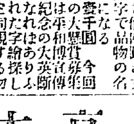
店員 …

外交 …

出資 …

金融 …

壹千圓? 教育參考懸賞 メタル

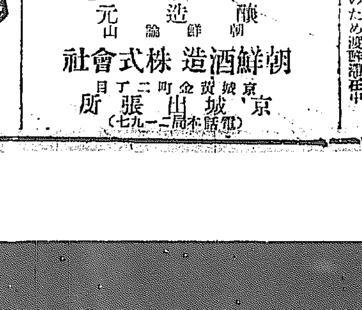


K18金メタル 壹千個大提供

【平和博覽會記念】

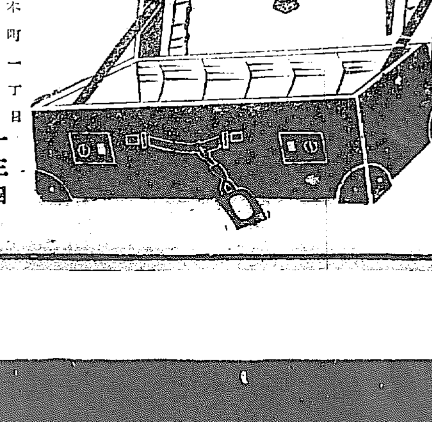
各種鍋釜用 木蓋製造卸販賣 村田商會

酒界之權威



醸造元 朝鮮論山
朝鮮酒造株式會社 京城出張所 京城黃金町二丁目

鞄八高木



鞄製造販賣 高木鞄店 京城府本町一丁目 電話二五四、一三四番

中島病院

內科 小兒科 院主 中島貞信 京城府明治町二丁目 電話三七八番 入院隨意

懸賞尋ね人

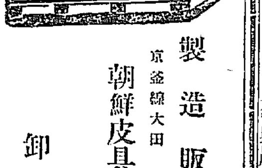
龜田靜 年齡四十歲

右は大正八年六月十七日本籍地廣島市自宅を出發し行衛不明となりたるを以て本人御同道の方には金五百圓居所發見御通知の方には三百圓の謝禮可致候

各時計卸商 喜多金光堂

京城黃金町二丁目

製造販賣 朝鮮皮具製造合資會社



京釜線大田

岩田病院

(內科)(外科) 附屬 沃度注射院

今日竣工式を擧げる
北鮮の重鎭元山港
往時に比し隔世の感なき能はず
元山商議會頭　葭濱忠太郎氏談

【元山】年を閲すること八ケ年費を投ずること三百五十萬圓の元山築港工事は漸く本日を以て其の竣工式を擧行せらるゝに至つたのは元山の爲めに慶賀に堪えない、之を海陸聯絡の上から觀察しても不完全にして海岸は徒らに荒廢の儘に一任して顧みられなかつた往時に比すると其の利便一二にして止まらず就中其顯著なる者のみでも（一）荷物揚卸の手數及時間の節約（二）荷物揚卸費の減少（三）時化の際に於ける荷役の支障を免れ（四）船車聯絡の完全に依り旅客出入を輕便ならしむる等細説すれば直接に間接に獲る利益は莫大なるものである、築港以前の不便に想ひ到れば實に隔世の感ありと謂ふべく然し築港の設備は[illegible]、弁は繋船岸壁と云ひ防波堤と云ひ倶に將來元山の大を爲すには未だ其規模狹少を免れない、就ては他日更に第二期計畫として此の缺陷を補はるゝに至らん事を翹望して止まない次第である。

元山は天與の良港
朝郵元山支店長　廣瀬博氏談

元山築港竣成は當府民にとり正に空前の慶事にして當局に感謝の意を表すると共に歡賛の念に堪へざる次第である[illegible]海上の活動に俟つの外なき現状に鑑み海上運輸交通の發達如何は軈て帝國の運命を支配するの重大なる關係を有し[illegible]天與の良港に加ふるに海陸聯絡設備工事竣成を遂げ水深は大となり防波堤は繋留岸壁と共に船舶の出入を便じ荷役能力は増進し完全なる上屋倉庫は臨港鐵道と相俟つて遺憾なく海陸接續作業を敏活簡易ならしめ[illegible]元山は實に帝國の港灣として[illegible]施設を盛んに利用し其機能を發揮するかは大問題で吾々府民は全力を傾倒して研究する必要がある[illegible]

寺内伯と元山港
元山毎日新聞社長　西田常三郎氏談

[illegible]

群山商議改選
六月十一日施行

【群山】群山商業會議所議員改選は來る六月十一日執行されるので會議所は議員選擧人名簿を作製し二十二日から二十六日迄五日間毎日午前九時から午後四時迄名簿を縱覽させると

銀塊相場暴騰
【安東縣】安東縣の銀塊相場は久しく二兩一錢四十二錢の處を彷徨し來りしが常に日本人側は弱氣に[illegible]

結局解散總辭職か？
平壤商議紛糾益々擴大
【平壤】平壤商業會議所の紛糾は既記の如く錯綜して[illegible]

公職を放棄
[illegible]

辭表を提出
[illegible]

自個の無能
[illegible]

朝鮮信託總會
【仁川】朝鮮信託株式會社第一回株主總會は廿日午後一時仁川商業會議所樓上に開催せるが[illegible]

六一、五三三、七六	當期總益金
三五、四三四、三二	當期總損金
差引二六、〇九九、四四	當期總益金
一、五〇〇	法定積立金
一、〇〇〇	別途積立金
二、〇〇〇	役員賞與金
二〇、〇〇〇	株主配當年一割
一、五九九、四四	後期繰越金

大金肥試驗成績
【大田】大田郡にては柳川面[illegible]

既成一二等
道路橋梁改良
秋月平南道技師談

[illegible]

木浦府民大會
中學問題に關し
【木浦】木浦中學校設置期成同盟會主催にて廿一日夜[illegible]

決議文
吾人は大正十二年度に於て木浦中學校の設立を期す[illegible]

京南鐵道
工事殆と完了
【天安】[illegible]

家屋建築激増
【沙里院】[illegible]

大連市營貸家決定
【大連】[illegible]

態度奈何
中野警察部長の
【平壤】[illegible]

木材取引閑散
【安東縣】[illegible]

滿員札止の盛況
【安東縣】[illegible]

仁川弓道大會
近來にない盛況
【仁川】[illegible]

奉天圖書館落成式
【奉天】[illegible]

驪州在郷軍人總會
【驪州】[illegible]

實彈射擊會
[illegible]

米進發賞交附
[illegible]

鮮滿神職講習會
[illegible]

龍中生見學
[illegible]

地方集會
[illegible]

地方人事
[illegible]

笑劇　第三一〇席
小金井芦洲講演

[illegible]

池の藤
（水原心の友會詠草）

○池水に影を宿してさかしまに房長くとたれし藤かな　野呂國思

○池の面にうつる紫野田の藤枝ひく人のたえまだになし　近藤蕭洲

○池水に染めてかけたる花ぶさはむらさき匂ふ岸の藤なみ　後藤曲汀

○紫のゆらくを見れば池の面のこひのあきとに寄する藤なみ　井上渡庵

『春夜聞琴』

○誰か爲にかなつる琴のすさひにか花みうてたにみめうるはの女をみ　藤本山海

○たかためにかなつる琴の調へにか心ひかれてたゆたひにけり　野呂國思

○月てらす若め木立の陰か家にかなつる琴のもれて聞ゆる　近藤蕭洲

○朧夜に柴の戸とさしかきならすまの小琴のしらべ床しも　井上渡庵

將棋新手合【五】
香落　△六段　宮松關三郎
　　　▲四段　田村文藏
（同じ前號指手の局面）
[illegible]

五月二十四日
[illegible]

開釜連絡船
[illegible]

演藝案内
[illegible]

鮮展を前にして
江守桂舟氏

押し迫つた鮮展の出品作に掛つても又忙しい身を以て出品作に掛つて居る江守桂舟氏を漢江通り三の自邸に訪ふと夫人の春子さんが愛想よく導いて與れる『何ぶ物忙しい身で此んな作に取掛つたので昨晩なども字を調べるに打通しました』と手を休めた、氏は故山本星山の門に學び專ら唐宋時代の書風を研究し書法は故中根半湖翁に學んだ號の桂舟は其當時星山の師伊藤桂洲翁の書風を與へんと星山翁の命名したもので哲學館大學出身後專ら東洋哲學を研究し唐宋時代の書風を與へて居る、氏の今回の作品は『朱子治家格言』を二尺五寸に五尺の紙本に楷書六百字と云ふ大作で氏の作品は東都各展覽會で數回入選した隱れたる書家である、『ほんとうに申しますと楷書は矢張二寸角ですが字數が多いので一寸角に縮め其上長らく作品もせんので思ふ樣に手が動きません』と又筆を執つて一字宛克明かに清書を續けた

作家に憧れる 若い女の手紙が降る
女學生に大持ての吉田絃二郎氏 品行不良の作家は不人氣

菊池寛氏の女中や久米正雄氏の書生になり手は幾らでもあり出す程ある又一方女學生のおみな、けれども嬉しい味方をもつ作家に吉田絃二郎氏のある事は忘られぬし一部の婦人に秋田雨雀氏の尠からぬ尊敬のある事も見落してはならない、その他は大抵どんぐりの背くらべで概して品行の方正でない人やあまり年の若い人は信用なり同情なりがない、そこで世の中の婦人が之等の作家たちには作物と議論會などによる他個人的の特別の理由のない限り接觸の機は殆どないたゞその中に少數の勇敢な若くは大膽な女性のみが直接手紙を送つたり訪問したり作品を持込んだりする、どんなヘボな作家だつて二本や三本の女文字のレターを受取らぬものはない

文藝愛好の 婦人の内に時おり作家にならうといふ望をみてゐるものは實際少くない、そこで之等の作家たちはどんな態度を執つてゐるかといへば有島氏などはよく讀んで細かに批評をみると作家の間に通つてゐる久米氏等はゾボラでとても面倒な指導などはしない、もと素木シヅ子さんの弟子であつたおセツちやんといふ少女が久米氏の下に五六年も文藝修業をしてゐたが當の師匠の久米氏よりも其友人たちから指導される事の幾分多かつた位でついこの間文壇とは縁の遠い理學士に嫁いで今は朝鮮に ゐる、寬氏等に言はせれば『よい素質のあつた人だのに惜しい結婚した方が幸福ではあるかも知れない』とそれで之等作家の手許に屆く原稿の中から傑出したもの、出る事は滅多にないといふ事は作家達が口を揃へていつてゐる菊池寬氏は語つた

『どうしても婦人は知識が低いから作家になつて男子に伍してゆく力がない今位文壇に出やすい時は後にも先にもない位少し勝れたものなら必ず出られる時代なのだし自分などの許へもよいのさへ來れば紹介は何の樣にでもするけれど事實今迄來たためしがない、それに望みばかりは大きく作家として立つとか生活をそれで保たうとするのだから始末に終へない』

それで女弟子といふ者は殆ど何の作家にも極少く僅々の例外で長續きもせず打こんでやれない定評があるが久米氏などは『私の女弟子のたつた一人はたゞ文學といふものが知りたいからと格別大それた望みもなくまるで茶を習ひ長唄でも教はる位の程度できたそれが私に特別氣に入つて張りけたのです』といつた調子だ（東京通信）

女子大學生が出演俳優
となつて卒業論文の脚本を公演

目白女子大學社會部の才媛山原鶴子外三名が去る四月の卒業論文に今までにない脚本『あやめ』といふを草いた、之は劇界に知られた『孔雀城』其他のに模したもので全八齣からなり舞踊味の豐かなもので阿部次郎氏や姉崎潮風氏なども大に賞揚しいよく上演する事となつたが豐坂保に就ては校長や同窓生と協議の末女學生の素人劇として之を同校講堂で公演する事となり舞踊監督は伊木貞一氏に内定して居る、從來にも公開ではないが中等程度の女學校では之と同じ企ては偶々見聞してゐるが女學生の作劇を女學生が試演する事は今回が初めである（東京）

ダンスと性慾
實感は超越して居やうが 或感情を昂奮させなからうから

『ダンスと性慾、それは無論密接な關係が有ります』と冒頭して醫學博士杉太錢治氏は近頃大ぶん問題になつて來た大流行の社交舞踏に就き醫學、から見ての批判を試みる『社交舞踏の起源は宗教上の儀式に在つたのですが現今は社交娛樂の一として存在して居るのです、そしてハリモンドの云ふローマンテストの起りは戀愛を直觀する事によつて在る』を共催に踊る男女は音樂、色彩其他の霧圍氣に包まれて或る幻想を追ひつゝ現在の境遇から解放された世界に彷徨つて行くのです男女相擁して踊つても實感は既に超越して居ませう併し人間は幻想を又現在に引戻さうとする慾望の甚だ強いものだと云ふ事も看過されません、青春の男女が強烈な色彩微妙な音樂に伴ひ相接觸する時總ての官能が享ける刺激は

或感情 を極度の品位に導かずに置きますまい其處に危機が醞釀し手を差延べる順序になる譯です青春の男女に限らず既婚者とても其多數はエレンケイの豫備結婚でも經てゐる者で無い限り之を抑壓するに智能とか個性とかは餘り力強いものではありません假令一時的にしろ配偶者以外の異性を擁して踊る時矢張り或る感情の

衝動に 驅られる事も珍しく無い譯です舞踏の利害は更に角斯くも舞踏に伴ひ如何なる感情が働くかは能く注意し之から來る弊害を緩和する用意が必要でせう』

讀者慰安巡回活動寫眞
廿四日 春川警官講習所

防臭劑の造り方

これから暑くなるとますく厠所の臭氣が激しくなり色々な蠅も湧きますから一日隔き位に防臭劑を撒布するがよろしい防臭劑は石油乳劑がよいやうです作り方は石油四匁五分沸湯四匁五分シャボン拇指大の塊を水九合に溶解して瓶に入れますこれを撒布する時に一時に澤山出さないやうに瓶の口にコルクをはめてコルクの中央に小さい穴を開け長さ一寸五分位の竹を挿入して出すやうにすればよろしい

脫營抹殺團員
憲兵に取押らる

去る十五日近衞第三聯隊から脫營した抹殺團の石黑樂二郎は二十日夜十時頃本所で憲兵隊の手で取押へた（東京電報）

試驗所燒く
損害四萬圓

二十日午後三時東京衞生試驗所でエーテルから發火倉庫一棟を燒く損害四萬圓（東京電報）

氣分の惡い時でも 繪を見れば機嫌が治る
鮮展に奬忠壇の風光を出品した 川西凉子夫人

前京城地方法院檢事川西氏の夫人凉子さんは京城高女第七回の卒業生で幼けない頃から少々不機嫌でも繪の顏さへ見たら大抵は機嫌がなほるといふ程で小學校時代から女學校時代にかけてはよく雜誌の口繪などにある樣な時世の美人繪を描いたり、又は日曜日などには學友と近郊に寫生に出たりして研究をつゞけ高女卒業後今の樫埋氏の門へは入られたのである。今回も鮮展に出品するに就て準備中といふ時になつて夫君の轉任があつたので凉子夫人は愛兒一人をつれて其の實家なる三坂通りの鮮銀舍宅柳原秀技氏の宅に同居し縁ふかい奬忠壇の海軍工場あたりを題材として出品畫を作成され其の作品の搬入方を師の樫埋氏に依託し、尙鮮展開會期の出城可能を期して夫君の待ます鎭海浦に向はれた（寫眞は夫君の撮影されたもの）

一風變つた 米國の夫婦
永續的別居說
結婚生活を幸福に導く法

◇米國のある一部の人達の間には既に夫婦の永續的別居說を唱へられて既にこれを實行してゐる者も澤山あるといふ話だ。さうして其人達の說に依るとソレは結婚生活を不幸に終らせない處の豫防法だといふのである

◇英國でもこれに似た說を唱へてゐるのは倫敦附近のオムステッド市の牧師ベシルバッチャー氏で家庭の不和を救ふ妙藥として夫婦が別々に休暇を取る事を奬勵してゐる、此人の說に依ると家族は各員別々に分れて休暇を取り休暇中は仕事を休むばかりでなく互に家族とも分かれて生活する事にする。

◇而して此休暇中は一年中何時でも必要であるが特に夏期に於て大切だといふのである。家庭に風波の絶えないのは心ある人々の皆憂慮する處であるが氏の云ふ處に依ると人間を愛し夫婦關係の安定滿足を計るためには此の方法が萬能藥であつて家庭の不幸及び誤解の大半は家庭の各員が永久に結び付いてゐなければ成らぬといふ原則に捉られてゐるから生ずるのだといふのである。

◇日本でも親子兄弟の別居說は以前から頻りに唱へられて來てはゐるが未だ夫婦別居は一般和になつた暁、以外には出來さうもない說だ矧論ソレは目下の日本家族制度の下に浸つてゐるのではとても無理な話ではあるがこれが其說通り實行される事なら確に夫婦親子の間は圓滿に行くに違ひないと思ふ

不逞漢惶さる

平北楚山郡楚山面にて十八日午前四時頃不逞漢と交戰し賊側一名は射殺され殘餘の者は鴨綠方面に逃走したが其際長銃彈藥文書等多數を押收し去つた

東京大相撲勝負
【千秋樂】（廿一日）

勝		負
綾鬼	（突出）	小牛田
小野川	（上手投）	伊吹山
白岩	（突出し）	高の山
司天龍	（素首落）	能代潟
南國	（小手投）	藤の川
阿久津	（渡込み）	東
鞍ヶ岳	（押込み）	友の浦
射水川	（押込み）	若常陸
光風	（寄倒し）	琴ヶ浦
大門岩	（掬投げ）	淺見藤
常の花	（突出し）	矢筈山
太刀光	（突出し）	大錦
中入		
阿蘇岳	（押込み）	碇錦
綾錦	（吊出し）	清水川
常陸島	（渡込み）	紅葉川
陸奥山	（下手投）	柏山
錣柳	（預り）	太刀海
清瀬川	（ひねり）	闘ヶ濱
大の里	（分け）	千葉ヶ嵜
栃木山	（押切り）	若葉山

打出し五時三十五分東西星取り西方勝越十一點優勝旗手阿蘇岳優勝者大錦

今夏流行の 浴衣
薄藍色と納戸 模樣は圖案風

浴衣の趣味のあるはそれとして涼しの夕べに凉を求るに用ゐる中形浴衣は時代着るにはまだ幾分の間があるが各家庭でも既に準備期に入りて本町の各商店ともすでに品揃ひの體であるが今年流行の中心となるものは色合では藍を第一位に次は納戸、鼠色等の順序である殊に藍などは昨年に比し餘程澤山のものが需要が多く變り色としては雜しく、鐵納戸などの落付き味ある中に何處となく華やかさを含んだ趣きある色合が現れてゐる

模樣 は相變らず草花の寫生若しくは岡浸風のものが大部分を占めてゐるが元祿時代の流行を代表した市松模樣の應用は今夏製品の上には中形といはず上物といはずすべての物の上に用ひられこの外新しいものでは京濱の柳の捌け所に應用したもの、又は古き浦の流模樣を應用したものなども何れも配色は極く調和に富み納戸色などの濃色に白上りか其の反對にした、紺上りの『ニジミ』と稱し多く應用された流行の縞類をなしてゐる

地質 は新しいものは岡田、ガーゼ等上物は明石、ボイル等で其外新製品としては地織があつて、しなやかでさらりとした縮紗、縮緬と涼風紗といつて縮の味に富んだ[illegible]其價は一人增してゐるがこれ又價格は大抵一色上がりといふ處、價は昨年に比し約一割の下落で並品は一反二三圓位から先づ稲で七八圓迄である

石油の用途

石油は、家庭において非常に用途の廣いもので、ランプ時代が過ぎ去つた今日でもガストーブの燃料として或は塗り物、洗濯用として用ひられて居る。衣服類を洗濯する時に、先づ匙に二三杯の石油を入れた水に浸けてから洗濯すれば、垢は非常に落ちやすく、陶器類の汚れを落すには、石油にひたしたボロ布若くは海綿で強くこすり、八九分の後に熱湯で石油を洗ひ落す、ピアノ、重箪笥等の塗物が光澤を失つた場合には綿布若くは皮に石油をしみさして輕くこすり後に柔かい綿布で石油を拭きとるのである。なほ石油は家具その他の物に附着した手垢やシミを落す事に効能のあるもので、毛皮、衣類を貯藏し新聞紙で包んでおく時ばかりでなく、樟腦代用としても蟲が附かないのも、新聞紙のインキ中に石油が含まれて居て、その臭ひが蟲を驅散する爲である

義太夫界

▲義太夫會のある毎に角紛擾の起るものだ少し前過般京城で開催された義太夫の夜樂が始まる世話人が途方にくれたさうだ▲事の起りは某娘に贔屓の意味で樂屋のラッパを吹いたのを世話の岩井が『義太夫と落語とは譯が違ふ』と叱り付けた▲するとラッパが何う事に障つたものか突如岩井に打つて掛かつたので遂に中樂つたのを目撃した盛山君が持て居るラッパの頭をポカリと毆つたかラッパを鳴いて嫌がりに宥めて居るのを一葉君が『モウ好いでないか』とか何とか云つたとかで今度は盛山君が怒り出し一葉君を土俵で毆ろうとした▲斯う云つて了へば極めて露骨で簡單なやうだがこの紛擾の裏面には種々感情上の問題が潜んであると云ふものがある更に角紛擾に解決が付いたとは目出度い▲翌朝太夫の宿では盛山君が時間の事で義太夫節を起し行李を本家迄運び出し世話人の某竹君を困らせた事もあつたさうだが外の事と違つて義太夫會のゴタくは後で考へると可笑しなものさ。

怪しい注文取

京都市花屋町華竹等明治屋本店員と自稱する梅垣守三郎は數日前より新義州に入込み盛んに注文を取つてみたが同人は數年前に明治屋を解雇され同店とは何等關係なき由にて同人は各所に入り込んだ形跡があると（新義州）

女子高普見學團

京城女子高等普通學校生徒六十名の内地修學旅行團は二十日無事歸城したが二十一日午後一時より同校に於て見學報告會を開き各自感想談を試みた

不正漁業者
七名檢擧さる

例年此季節時期には不正漁業者が横行し[illegible]島を去る南方十二浬の國島に不正漁業者横行せるを聞知し十六日午後[illegible]十日迄に二名を捕へたるのみ同島は[illegible]鮮人家屋に八戸にて食料となる者[illegible]島なれば何れ近く全部の捕縛を[illegible]

立宗會と本能寺

市内本町四丁目本能寺にては二十三日日蓮上人立宗の紀念日なるを以て例年の通り[illegible]同日午後八時より通夜法要を嚴修し[illegible]

京畿麥作不良

京畿道管内の麥作狀況を聞くに昨秋播種以來大體に於て良好なりしも[illegible]一部分に過ぎず大體に於て[illegible]

麥肥成績良好

近來一般農家にては競ふて麥畑肥料に硫酸アムモニヤを使用しつゝあるが元來硫酸アムモニヤを有效に使用[illegible]有害なるを以て當局[illegible]除り好まざる農民が無成等に之を使用する事は[illegible]各地に於ける同肥料使用の成績極めて[illegible]に對する需要は增加の方にて[illegible]千貫以上を使用せり[illegible]

『名[illegible]』
京日讀者優待券（一枚にて五人迄有効）
日時 十八日より七日間
場所 黃金館
京城日報

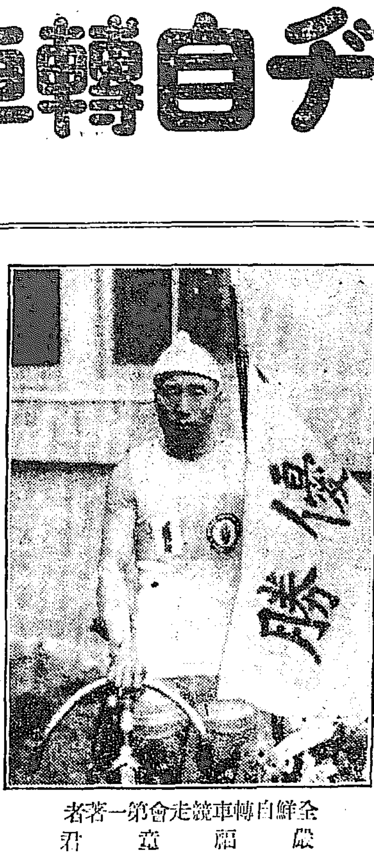
ラーヂ自轉車

RUDGE-WHITWORTH LIMITED

最後の優勝は常にラーヂ

全鮮自轉車競走會 四十週 一流聯合 第一着嚴福童君は

ラーヂの堅牢と輕快を證明せり



全鮮自轉車競走會第一着者 嚴福童君

堅牢と輕快なる自轉車を望む者は

ラーヂを撰べ

發賣元 株式會社日米商店京城支店
京城代理店 大門通三 ツキ自轉車商會
明治町二 瀧川自轉車店

ラレー自轉車

THE RALEIGH

ラレー優勝
乘用者 森下正一君

大正拾壹年五月廿一日京城輪業會主催京城奬忠壇公園グラウンドに於ける全鮮自轉車大競走會に於て一流選手競走に第壹着の榮冠を得たり之れ本車の優秀他の群輪を壓せるに因る

英國製高級車總鋼鐵式ラレー自轉車

輸入元 株式會社丸石商會京城支店
京城府黃金町一丁目
電話長本局七五三番 振替京城九八一一番 發電略語ケイ四
東京、大阪、横濱

特約代理店 中西自轉車店
電話本局二三六七番

當日優勝した嚴福童選手

十萬の觀衆、競技の度に熱狂の最高潮に達した
快輪砂塵を蹴り拍手波の如く湧く
大盛況の自轉車大競走會の午後
最後の榮冠は嚴選手へ

晝食の爲め一時間休憩した午後一時再び競爭を始める頃から雲が薄れて温かい陽の光が射して集まり來る人の足も益々繁くなつた選手の意氣も昂れば觀衆の眼も輝く、此の競爭には本社寄贈の金銀銅メダルもあり優勝旗もあることゝて一段油も乘り緊張味もあつた

午後戰跡

第十三回（十二週） 三流聯合 一着 李鳳錫、二着 李德文、三着 金厚敬
第十四回（十週） 一流聯合豫選 一着 森下正一、二着 張基聖、三着 巴丸吉
第十五回（六週） 四流 一着 洪光鉉、二着 朴世煥
第十六回（六週） 四流 一着 姜俊元、二着 李錫淡
第十七回（六週） 二流豫選 一着 山崎太郎、二着 趙鐘萬
第十八回（六週） 二流豫選 一着 木下寅三、二着 李德文

天氣もスッカリ上天氣になつた競爭も愈々興酣になつて赤白青黒のユニホーム姿の鐵脚に鐵輪は輕く飛んで居る輕快なる樂隊の諧調につれて觀衆は益々加はつて無慮十萬と註せられ會場係は聲を嗄らして整理に努めて居る有樣であつた

第十九回（十週） 地方選手聯合 一着 韓昊淡、二着 金大圭、三着 高垣利吉

次いで第二十回二流聯合二十週の競走に移り山崎自轉車店の山崎太郎君が一着を占めたが競走終了後此山崎君は蔚玉で實は內地の一流選手であると言ひ出たものがあつて物言ひが付き一時は却々緊張した場面を見せたが結局競走を遣り直す事になつて愈々第二十一回に移る

第二十一回（四週） 五流 一着 栗田萬次郎、二着 崔聖善
第二十二回（四週） 四流 一着 朴瑞元、二着 全三千
番外（十五週）二流聯合遣り直し 一着 洪鍾晟、二着 趙鐘萬、三着 森下寅三
第二十三回（六週）一流聯合第二豫選 一着 高石武明、二着 山崎太郎、三着 尾崎鄉二郎
第二十四回（四週） 四流 一着 崔宇植、二着 朴世煥

高橋選手突然中止し 嚴選手遂に優勝す
場內蜂巣の破れた樣に喧々囂々

愈々呼び物の總聯合一流選手の競走となつて一しきり選手連も觀衆も熱狂してどよめき渡つた流石に一流選手の必死の競爭だけに速い〳〵まるで飛ぶやうである十週二十週と回を重ねるに從つて選手の意氣は益々昂り觀衆は愈々熱狂して歡聲の響は場を壓する斯くて先頭は高石選手（內地）其の次は嚴選手の順序となり競走は宛から此二人の爭覇戰たるかの觀があつたが三十九週目に於て嚴選手のかけたヘビーが利いて二人の差は僅に三尺位となつた場內はもう喧々囂々恰も蜂の巣をつゝいた樣である所が此緊張際になつて高石選手は何う感違ひをしたものか突然競走を中止した爲め嚴選手の一人舞台となり同選手は樂々第一着の榮冠を占める事になつた

第二十五回（四十週）總聯合一流競走 一着 嚴福童、二着 秋場傳吉、三着 洪鍾晟、四着 山崎太郎

觀衆雷の如き拍手を浴せ 榮譽の勝利を祝福す
空前の盛況裡に終了す

此の結果を見た觀衆は總立ちとなつて歡呼し嚴選手は狂喜した多數の同僚から嵐と云ふ程胴上げにされた嚴選手が李完用侯爵の優勝旗を肩に二三の同僚に助けられつゝ會心の笑を泛べてトラックを一週する

東京大相撲幕內成績表
大正十一年五月場所

（例栃木山欄にて●阿久津川は栃木山の負）（例若葉山欄にて○東雲は若葉山の勝）（○は勝●は負×は分△は預やは休）

（東の方）

	一日	二日	三日	四日	五日	六日	七日	八日	九日	十日
源氏山	や	や	や	や	や	や	や	や	や	や
若葉山	○東雲	○光風	○兩國	○福柳	●大門岩	●鶴ヶ濱	●大ノ里	●常ノ花	●大錦	●栃木山
千葉崎	○若常陸	○兩國	○光風	○東雲	○鶴ヶ濱	×栃木山	×福柳	●大錦	○常ノ花	×大ノ里
矢筈山	○司天龍	●栃木山	●大錦	●兩國	●東雲	●阿蘇嶽	○大門岩	●大ノ里	○若常陸	●常ノ花
太刀光	●大ノ里	○綾錦	○福柳	×司天龍	●栃木山	○常ノ花	○光風	○大門岩	○鶴ヶ濱	○大錦
清瀨川	○常陸島	●東雲	×常ノ花	○大ノ里	●大門岩	○兩國	×大錦	○光風	●栃木山	○鶴ヶ濱
三杉磯	○鶴ヶ濱	×伊吹山	○大ノ里	●大錦	●常ノ花	△福柳	●東雲	や栃木山	や	や
鞍ヶ嶽	●柏山	●大錦	●鶴ヶ濱	●栃木山	○綾鬼	●大門岩	○常ノ花	●福柳	×大ノ里	○友ノ浦
陸奥山	●常ノ花	×大門岩	●栃木山	○鶴ヶ濱	●大錦	●大ノ里	○兩國	○伊吹山	●福柳	○柏山
阿久津	○栃木山	○常ノ花	○大門岩	○大ノ里	○福柳	●大錦	●柏山	○鶴ヶ濱	●阿蘇嶽	○東雲
紅葉川	●大錦	●福柳	○若常陸	●常ノ花	○友ノ浦	●光風	●栃木山	○高ノ山	○大門岩	●常陸島
白岩	×大門岩	○大ノ里	●伊吹山	●光風	×阿蘇嶽	●柏山	●鶴ヶ濱	○綾鬼	●東雲	○高ノ山
朝見藤	○兩國	●鶴ヶ濱	△綾鬼	○若常陸	△柏山	●東雲	○綾錦	●常陸島	○司天龍	●大門岩
太刀海	●光風	●若常陸	●柏山	○高ノ山	○綾錦	○常陸島	○伊吹山	●司天龍	○友ノ浦	△福柳
琴ヶ浦	●綾鬼	高ノ山	×司天龍	●綾錦	○兩國	○若常陸	×阿蘇嶽	○友ノ浦	●柏山	●光風
大戶平	や	や	や	や	や	や	や	や	や	や
小牛田	●綾錦	○常陸島	●東雲	●伊吹山	●若常陸	●司天龍	○友ノ浦	●兩國	●高ノ山	●綾鬼
能代潟	●福柳	柏山	綾錦	○阿蘇嶽	●光風	伊吹山	●常陸島	●東雲	○綾鬼	●司天龍
藤ノ川	●阿蘇嶽	●友ノ浦	○高ノ山	●常陸島	●司天龍	●綾鬼	○若常陸	●綾錦	伊吹山	●兩國
小野川	○友ノ浦	○司天龍	●阿蘇嶽	●柏山	○常陸島	●綾錦	○綾鬼	○若常陸	○光風	○伊吹山
射水川	●伊吹山	●阿蘇嶽	○常陸島	○友ノ浦	●高ノ山	●山錦	●司天龍	○岸ノ松	○兩國	○若常陸

勝星 八十三　負星 八十七

（西の方）

	一日	二日	三日	四日	五日	六日	七日	八日	九日	十日
栃木山	●阿久津	○矢筈山	○陸奥山	○鞍ヶ嶽	○太刀光	×千葉崎	○紅葉川	や三杉磯	○清瀨川	○若葉山
大錦	○紅葉川	○鞍ヶ嶽	○矢筈山	○三杉磯	○陸奥山	○阿久津	×清瀨川	○千葉崎	○若葉山	●太刀光
常ノ花	○陸奥山	●阿久津	×清瀨川	○紅葉川	○三杉磯	●太刀光	●鞍ヶ嶽	若葉山	●千葉崎	○矢筈山
大ノ里	○太刀光	●白岩	●三杉磯	●阿久津	○清瀨川	○陸奥山	○若葉山	○矢筈山	×鞍ヶ嶽	×千葉崎
大門岩	×白岩	×陸奥山	●阿久津	●清瀨川	若葉山	○鞍ヶ嶽	●矢筈山	●太刀光	●紅葉川	○朝見藤
鶴ヶ濱	●三杉磯	○朝見藤	○鞍ヶ嶽	●陸奥山	●千葉崎	○若葉山	○白岩	●阿久津	●太刀光	●清瀨川
福柳	○能代潟	○紅葉川	●太刀光	●若葉山	●阿久津	△三杉磯	×千葉崎	○鞍ヶ嶽	○陸奥山	△太刀海
光風	○太刀海	●若葉山	●千葉崎	○白岩	○能代潟	○紅葉川	●太刀光	●清瀨川	●小野川	○琴ヶ浦
若常陸	●千葉崎	○太刀海	●紅葉川	●朝見藤	○小牛田	●琴ヶ浦	●藤ノ川	●小野川	●矢筈山	●射水川
東雲	●若葉山	○清瀨川	○小牛田	●千葉崎	○矢筈山	○朝見藤	○三杉磯	○能代潟	○白岩	●阿久津
兩國	●朝見藤	●千葉崎	●若葉山	○矢筈山	●琴ヶ浦	●清瀨川	●陸奥山	○小牛田	●射水川	○藤ノ川
司天龍	●矢筈山	●小野川	×琴ヶ浦	×太刀光	○藤ノ川	○小牛田	○射水川	○太刀海	●朝見藤	○能代潟
綾錦	○小牛田	●太刀光	●能代潟	○琴ヶ浦	●太刀海	○小野川	●朝見藤	○藤ノ川	●山錦	○清水川
常陸島	●清瀨川	●小牛田	●射水川	○藤ノ川	●小野川	●太刀海	○能代潟	○朝見藤	●清水川	○紅葉川
阿蘇嶽	○藤ノ川	○射水川	○小野川	●能代潟	×白岩	○矢筈山	×琴ヶ浦	○山錦	○阿久津	○樫錦
伊吹山	○射水川	×三杉磯	○白岩	○小牛田	●樫錦	●能代潟	●太刀海	●陸奥山	●藤ノ川	●小野川
友ノ浦	●小野川	○藤ノ川	●樫錦	●射水川	●紅葉川	○清水川	●小牛田	●琴ヶ浦	●太刀海	●鞍ヶ嶽
高ノ山	○[illegible]	●琴ヶ浦	●藤ノ川	●太刀海	○射水川	●樫錦	○清水川	●紅葉川	○小牛田	●白岩
對馬洋	や	や	や	や	や	や	や	や	や	や
柏山	○鞍ヶ嶽	●能代潟	○太刀海	○小野川	△朝見藤	○白岩	○阿久津	○樫錦	○琴ヶ浦	●陸奥山
綾鬼	○琴ヶ浦	○岸ノ松	△朝見藤	×樫錦	●鞍ヶ嶽	○藤ノ川	●小野川	●白岩	●能代潟	○小牛田

勝星 九十四　負星 八十七

湖南議會に婦人議員
議長候補に三點の得票

【長沙發電】普通選擧に依り選出せられたる湖南省議會は十五日より召集せられ婦人議員も議長候補に三票の得票ありき

猫いらずで厭世自殺
姪を道伴に

廿一日午後三時半過ぎ府內大平通二ノ二九二番地人力車挽き金子市次の妻クメ（三七）は夫の不在中に猫いらず約五十瓦を半分に分けて姪に當る千代（六）には飯に混入して服せしめ自分も亦殘り全部を嚥下し自殺を企てたが六時頃になり突然に腹痛を催すので最寄の安東醫院に駈け込み應急手當を受けたがクメは遂に八時頃絕命し千代も生命危篤に瀕して居るが原因は

猫いらずを嚥んだと檢視したら
座敷で布團の中で明瞭に應答する

府內本町二の三番地居住大分縣下毛郡中津町生れ無職岩尾節三（二二）は二十一日午後一時頃家人の眼を盜んで豫て鼠取りに使用する爲め購入して置いた猫いらず十八瓦瓶に入れて酒一合と共に三回に亘り嚥み下したが時間が經過しても更に異狀がない所から隣家の人に頼んで要キウを呼び寄せて仔細を物語り同道して森醫院に赴き診察を乞ふたが生命には別條なかつた屆出に依り本町署より係官が檢視すると節三は座敷で布團の中に橫はり更に苦悶の狀なく訊問に對しては明瞭に應答し猫いらずを嚥下した形跡はなく猫いらずを酒に交ぜて嚥んだと稱する椀には猫いらずらしきものは附着して居れど怪しげした模樣もなく吐瀉物は何の臭氣もないので猫いらずを嚥下したのは疑問である元來同人は十年前伊藤組の事務員として一家三名の糊口を凌いで居つたが三年以前中風症に罹り半身不隨となつた爲め事務を罷めた所近頃氣管支加答兒に

颱風一過後の龍山京管か
受付と局長室の外は整理や改造でゴタ返し

颱風一過後の滿鐵京管局は日曜明けの二十二日は各課の增設で事務室の大整理から改造で上下共大多忙今まで左へ向きの机が右へ向く位は宜いが人員の移動と共に机の編成が全然改造されて書類は戶棚の中から引出されて廊下までははみ出して小使が兩脇に拾ひ上げて居るどの室もこの通り上衣を脫いだ人と箒を持つた小使とで大掃除を兼ねた職制改正が行はれる昨日までは此所だと思つて訪問すると今日は『何處か向ふの方です』と迷子の際に尋ね歩く始末各課の入口の標札は全部書換への爲め取除けられて電話番號が下つてる變らぬ室は受付と局長の應接室丈けこれなら皆が久保局長の所謂新しく赴任して來た樣な氣持となつて能率が進むだらう

開會に近づいた美展
陳列館に事務所を移し 會場の準備に取懸る

鮮展では愈本日から永樂町の商品陳列館內に事務所を移して作品の受付や會場の整理準備等に取掛るさうであるが聞く所に依れば會場は階上全部と階下の一部とで玄關の右手の階下十六坪は參考品と藝術寫眞陳列室に充て其の隣室大廣間は書の陳列室とし其の隣室及二室の階上に東洋畫を陳列し其の隣室に參考品を並べ左端階上の大廣間を西洋畫及彫刻の陳列室とする豫定であると

因は腦膜のヒステリーの爲め厭世自殺と判明した

狙擊共謀犯人 脫監後の模樣
を詳細に陳述し吳成崙の 行動稍目星つき領事館活躍

【上海發電】田中大將暗殺犯人吳成崙と共謀して領事館警察監房を脫獄した重要犯人田村忠一は上海九江路六號にて取押へられたことは既報の如くであるが彼の申立てた所に依れば當時吳成崙と共に破獄脫走して共に汽車で杭州に向つたが途中吳と別れ自分だけ杭州に留き今日まで支那人宿屋に隱れて居る中所持金が無くなつたので再び上海に戻つて來たのであると因に田村は吳成崙の着て居た黃色の支那服を纏ひ杭州の途中から歩いて來たさうで田村の逮捕に依つて吳の行方も見當がついたらしい領事館では大活動を開始した

孫秉熙小斂儀

元天道教々主孫秉熙の物故せし以來東大門外常仁洞の別邸は弔客引きも切らず應接に遑なき程であるが二十一日正午より地方教區よりの代表者其他中央高等普通學校金惟洙氏を始め同樂隊員親族等約三百名枕頭に侍し小斂日として衣服の着換へを行ふた

腎臟炎を併發したので東角家內に風波を生じて居たと云へば其間複雜した事情があるらしい

滿蒙視察團組織（團員募集）

觀察目的 南北滿洲及び東部蒙古の經濟狀態並に在留同胞の事情視察
觀察地 安東、新義州、奉天、長春、吉林、哈爾賓、四平街、鄭家屯、旅順
往復 十八日間（六月一日京城出發、同十八日京城歸着）
待遇 汽車旅館等凡て二等待遇を以てし尙ほ社員同行萬般の便宜を圖る
會費 一人二百圓（但し京城より出發の事）
申込金 一人に付五十圓
申込期日 來る五月廿五日限
申込所 京城日報社及毎日申報社
定員 三十名（申込順によるが但し締切未滿の場合同時に多數申込まれた際は公平に抽籤を以て選定す尙定員超過の場合も強いて御加入希望の方は特に本社と御相談ありたし）

飛降て昏倒す
無賃乘車の子供

館洞六九番地監獄看守林聖元の長男鐘寬（二）は二十一日朝より朋輩と共に獎忠壇公園に自轉車競走を見物に赴き其歸途午後四時五十分頃元町三の二四一番地先に差蒐つた際電車に飛び乘つたが間もなく車掌に發見され進行中の電車より飛び降りたので車體に挾まれ昏倒し左頭部を打破り人事不省に陷つたが生命には別條なかつた

鮮人女教員 內地視察團
昨夜出發した

朝鮮總督府主催朝鮮人女教員內地視察團員は幹事兩氏引率のもとに廿二日夜南大門驛發內地に向つたが往復廿五日間で來月十五日歸着の豫定である而して主なる視察地は福岡、京都、名古屋、長野、東京、日光、山田、大阪、神戶、廣島、宮島等である

【東京】男教員視察團は廿七日夜南大門驛發の豫定で團長以下二十六名であるが主なる視察地を順に擧ぐれば吳、大阪、奈良、山田、長野、東京、日光、橫濱、京都、神戶、岡山等である

全鮮硬球復試合に優勝した中川（左）矢野（右）兩選手

電車事故頻發

二十二日午前十一時頃新龍山行き電車二六號が南大門停留所前で前方シャフトが折斷し脫線し約一時間許り該線のみで運轉した

「いけす」燒く

【東京發電】芝浦で有名な料亭いけすは二十一日午後六時頃から十數組の來客があり盛んに騷いで居たが午後九時二十分頃出火し忽ち全燒し附近の家屋も類燒した損害は莫大の見込である

理髮業組合總會

京城理髮業組合では二十一日午前十時より第二回定期總會を開き組合規則に據り諸般の改選を行ひ收支豫算を決定した

社稷洞の小火

二十一日午前十一時頃社稷洞一〇番地酒類釀造業李承煥方より發火したが大事に至らず間もなく消止めた原因は煙草の吸殼が松葉に燃燒したものと判明した

西小門大然症

西小門町一三〇番地村上千代子（一八）は十八日發病し二十一日診斷の結果天然痘と決定した

加藤神社春季大祭

二十四日は龍山加藤神社の例祭春季大祭日で同日午前十一時より祭典執行及餘興數番ある由

運動界

東大門署春季射擊會 東大門署では來る廿五六の兩日間に亘り滿鐵京城射擊場に於て春季射擊會を催す筈

第二回リーグ戰
決勝は廿八日

體育協會主催の春季一流野球リーグ戰第二回戰が廿一日滿鐵グランドに於て開催された午前中京城倶樂部對滿鐵の取組にて京倶は久留米に於て名を賣つた良崎投手の新加入を得一軍の意氣も珍らしくあがつて居つたが戰回を重ねるに伴れて滿鐵に壓倒され遂に十四對二と云ふ慘敗を見るに致つた。兩軍のバッテリーは滿鐵軍林田原田、京倶良崎松浦にて、京城は昔からチームワークに欠けて居るその一事が此の慘敗の因を成したのではあるまいか。第二回はスタンダード對善隣青年會にて兩軍共一回戰に川場の時とは大變に陣容に變化があり勝敗は何れとも全く豫測を許されない。ス軍は仙山家成々甚軍は武田井上のバッテリーを以つて全力を盡したが遂に十二對四のスコアを以てス軍の大勝と成つた。愈々來る二十八日は滿鐵對スタンダードの優勝戰で當日は午後三時より矢張り滿鐵グランドに開戰する由である。

仁川リーグ戰
大物言となる

仁川體育協會主催野球リーグ戰は午前十時ミナト對漢勇の二勝者戰に開始されたが兩軍は仁川に於ける最強軍なるを以て殆と決勝戰に於けるが如き緊張味を以て萬餘の觀衆も鳴り靜める有樣であつた。斯くて大接戰の後遂に六對三のスコアを以て漢勇軍の勝となり、次は同志社對湊の會戰に移り仁湊の力及ばず十一對六を以て破れた。午後四時愈々優勝決戰開始、同志社對漢勇の好戰の爲めに滿場のファンは熱狂し、戰は漢勇に利多く先づ二點を先取し同志亦之を挽還して四回裏に於ては同志大崎、盛打を飛ばす等戰徒々可堅に入つたが漢勇は常に同志を壓し九回に入つて大物云ひ著き春季の決勝は一大汚點を殘して中止された

◎鼻が高くなる
▲隆鼻器無料貸與

▲鼻は人生の花で最も大切な物で幸と不幸の分れ道は實に鼻の格好一つで決まる ▲だんご鼻 ▲わし鼻 ▲其他鼻の恥しい格好の人は手術や隆鼻術でなく自宅で人知らぬ間に鼻の高くなる新案特許の隆鼻器を希望者に無料で貸與すハガキで申込めば直ちに見本を郵送す 東京市牛込區寺町 東京隆鼻器械製作所

硬球復試合
滿鐵矢野中川組優勝

體育協會主催硬球復試合優勝旗爭奪戰は既報の如く廿一日午前十時半より滿鐵選手コートに於て開催され左記の如く激戰にて滿鐵が優勝した

第一回戰
○湯山・神山 六―一 七―五 太田・青木×
○恩田・宮滿 六―四 六―三 大塚・大野×
不戰一勝者（高橋・宮田）（武藤・湯澤）（大內・內藤）（長沼・織部）（松原・菅）（中川・矢野）

演藝
文福茶釜の初日 京劇に上演中

廿一日京劇に初日を開けた文福茶釜の喜劇は徹頭徹尾笑はせてると云ふので笑ひ度い人々の間に大變な好評を博してゐるが中にも文福茶釜喜多子の奮闘は目覺しいものがあつた

映寫幕
『名聲』大盛況 ＝二十五日限り＝

黃金館上場中の『名聲』は上品なる趣味性に投じ又強烈なる刺戟性をも具備するので多方面の觀覽者を得二十日は晝夜共滿員の盛況であつた、猶同映畫は來る二十五日限り差替であるがファンとして此の寫眞は見落してはならぬものだと噂されてゐる

ROYAL-LION TRADE-MARK
ライオン號
全鮮自轉車競走大會 五月二十一日獎忠壇に於て
優勝車

乘用者 秋場傳吉君
ライオン號自轉車ハ既ニ定評アル輕快堅牢ナル事ヲ證明セリ
京城府黃金町二丁目
高居自轉車店
電話本局二九六二番

大正十一年五月二十一日獎忠壇グラウンドに於て全鮮自轉車競走大會二流豫選第一着及二流聯合選手第三豫選第一着の優賞者
優賞選手
下川商店店員 木下寅三君
選手推奬者 京城府本町三丁目
日の出自轉車店

獎忠壇設定グラウンド
コリヤ號選手
コリヤ自轉車は輕快堅牢優美を具備する眞の實用車なり
二流第一著 洪鍾晟君

京城南大門通り二丁目
發賣元 清水商會
アドレーク鮮滿代理店 電話二八九三番

割引入場

夜明前【39】

室津鯨太郎
守田かずゑ 畫

意外な客【四】

『おゝ寒い』と言つて其の女は箕助の店へ飛び込んだ。そして夫婦の顔を見ながら言つた。

『自動車のお客が來るなんて、櫻床にしちゃ景氣が好過ぎるね』

豐美な口の利き方をして硝子戸を締ると、直ぐ段の間へ飛び上がつて上顔を突つかけた。二十位の白粉焼けはじて居るが、まだ血色の可いのと肉付が豐な爲に、若々しさと艶麗さのある顔である。

『娘には可い旦那が出來るし、老爺には可いお客がつくし、今に銀行が建つばかりだ』

と箕助は娘の顔を見ると俄に元氣づいてからからと笑つた。

『顔かつたら、二階へお上がりな。今のお客樣に火を取つたばかりだから、二階が暖かいやね』

と老爺は見る度毎に美しくなつて行く娘の髷や頭髪、それに又新調したらしい衣物などを飽かず眺めながら言つた。

『さう、では二階へ行くわ。古少しですけれどお土産』

と何か包んだものを投げ出すやうに其處へほうり出して置いて、トントンと二階へと上つて行つた。箕助も女房も後から大儀さうに上つて行つた。娘はもう長火鉢の前に陣取りに少し足を出して、股の邊を輕く擦きながら煙草を吹して居た。

『車の中は寒くつて閉口さ、また雪に道でも阻りはしないか知ら』

投錢は其處へ投げ出してある外套や襟巻を疊み終ると、小紋の羽織をもの珍しさうに見ながら。

『その羽織はまた拵へたの』

『あゝ、三越で買つたけれど氣に入らないから、染返ししやうと思つてる』

『贅澤ばかりいふない』

と箕助は笑ひながら娘の膝に茶を入れてやつたりした。

『お父さんなんか、二言目には贅澤だつていふけれど、此頃は服裝が良くつちや可いお座敷へは出られないんですからね』

『さうかい、其咲は濟まなかつたな。何でも可いから澤山稼いで樂な身になつてお呉れな』

『抑在るまでもないわ、此の雪にでも箱根へ行かうといふのだもの、一生懸命だわ』

『お前の器量なんざ可い器量だな、遊んで居て金になる』

『なかなかさうでもないわ、さう注文通りのお客樣ばかりはないからねえ』

『今度の旦那は大分好ささうな様子だな』

『あゝ、まあ親へ向きだね、年齢だつてさう取つては居ないし、男が好くつて身分が好くつて金があるのだから』

『それで奥さんがなくつて女房といふ譯には行かないかな』

『奥さんはあるけれど、あつてもないやうな奥さんださうだから、今に運が向いて來るかも分らないわ』

『當て事と何とやらだ、しつかり頼むぜ』

『何うも私ぢや腕がないからね』

『で箱根へ何時行くんだい』

『之から、築地の若松家さんで皆待つてる筈なんだから、私すぐ行かなければならない。行けば何うせ二三日のつもりだけれど、長く遊ばなくつちや損だから、一週間位かゝるかも知れない、それで私、お父さんの先日話しのあつた、お金を持つて來たのよ。此の雪の降るのにさ、何か奢つて頂戴な』

と言ひながら紙に包んだものを出した。

『さうか、そいつは濟まなかつたな。今のお客樣へ出したんだが、まあ之でも召し上がれ』

と箕助は座にあつた菓子鉢を引寄せた。

『お甘さう駄菓子ね、踏込みの客にこんな菓子出して損ぢやないの』

『うん、店の客ぢやないさ、お前がお世話になつてる奥さんだ』

『あゝ、さう、お父さん、其奥さんは一體何といふ名なのさ』

手打生蕎麥 うなぎ蒲焼 丼 御手輕料理 本町二丁目 藪本店 電話九二三番

京日文苑 (投稿歡迎)

募集規定

短歌 題『木』 締切五月三十日 尾上柴舟選
俳句 題『 』 締切六月五日 本社編輯局選
川柳 題『花火』 締切五月二十五日 井上剣花坊選
賞金 天一圓五十錢、地一圓 人位五十錢(各題共)
注意 一題五首(又は五句)各題別紙、用紙は葉書に限る、京城日報社『京日文苑』宛のこと

俳句 本社編輯局選

題『海棠』

○平壌 蕉雨
爺が運ぶ海棠の鉢や頃日盛り
○同 春宵
落日の上に海棠の一二片
○長興 羽鶴
海棠の花に夕日の名殘かな
○京城 閑人
海棠に雨の一夜を明しけり
○仁川 銀白
海棠に夕日まばゆし化粧部屋
○黒川 柏水
海棠の門に貼りある貸家札
○仁川 雪女
指先は小額にあり海棠花
○京城 一蕉
病む窓に稀れて咲きたる海棠花
陽に映ゆる海棠明るき眷顧かな
○龍山 蔵六
病院の姉海棠の便かな
海棠や師門訪ふ倍ら若き
○京城 流東
海棠や朝寐の雨戸訪るゝ
○西湖津 葵川
海棠や卵だかせる鶏の世話
○渡邊 虹洋
三昧に入る法悦や海棠花
海棠や小紋つけたる女使者
○同 三樂
病床に庭の海棠見入りけり
海棠の栞入れあり友の文
海棠の盛を惜し小糠雨

川柳 井上剣花坊選

題『卵』

○寺洞 靜淡
御次馬に出ましたのでは濟まず
○仁川 旺焔
紅唇に觸れたく終に法に觸れ
○清道 不知坊
悪戯の中にきれいな子が產れ
○善山 翠風
過ぎ去つたことだと云つてすまぬなり
○市内蓬萊町 松綠
卵人と乘つて居眠る巡査なり
○永登浦 白粉岬
卵殻を消ずに四角な文字を讀み
○仁川 磐梯
神の子と卵の子とを十字架に掛け
○京城 洞平
ごたごたと姑の卵や嫁の卵
○鳥致院 吹竹
卒人は卵だと云つてかさをかき
○天安 喰心坊
こんな子に卵があるかと裏長屋
○京城本町 沈澱子
蝶々を追廻したも二人なり
ふとつ腹共卵だけを增んどき

土曜會句集 (一一、五、一三)

題『更衣』

更衣して舞姫の切火かな　精華
祭の日更衣して赤リボン　同
更衣縁の籐椅子に凭れけり　一葉
更衣庭眺めつゝ夕餉かな　同
更衣髭も綺麗に剃りにけり　左人
更衣嬉き合ひぬ女學生　鶴仙
更衣妻をカメラに收めけり　同
中の兒は剃刀嫌ひ也更衣　九樂天
一騒ぎして子福者の更衣　六花
更衣妻二つ三つ若く見ゆ　麥園
兄譲り弟に合ふ更衣　不知火
痩のはや見えて物憂し更衣　同
更衣背の延び誇る兄弟　淺子
新妻に尋ねられたる更衣　同
更衣海を見晴らす二階かな　盤花
更衣狆も新しき涎掛　同

松の實例會

二十日夜七時から市内黄金町海津氏の宅で松の實吟社例會が催された。俚人、番茶、栗音、末刀、芳郎、翠光、綠堂、汀幽、其他次から次と集り來る俳人二十幾名、席題『袷』『短夜』の互選を終つた後、橙黄子氏の噂や俳話の交換などに時を移して散會したのは午後十一時、稀らしく打解けた句會であつた

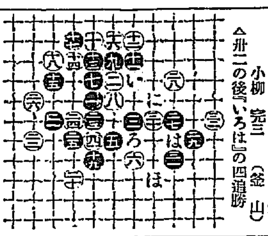
新刊紹介

青島及山東見物（崖元吉氏著）日本と山東との關係は並大抵なものではない此地の事情は一人でも多くの同胞に知つて貰ひたいのと小數の支人の専門家に對してよりも多數の衆人の國民の誰もが見ても判る樣なものを刊行したいと思ひ茲に筆を執られたものである（一圓三十錢青島横須賀町山東經濟時報社）

▲露西亞醫術（四月）五十錢東京市外板橋町金井鎧共社
▲國民精神（五月）二十五錢東京麻布區宮村町共社
▲石油時報（五月）三十五錢東京麻布區龍土町共社
▲京城彙報（五月）非賣京城府庶調査係
▲婦人界（六月）四十錢東京京橋區疊町東京社
▲大乘（大谷光瑞氏主宰五月號）七十五錢上海勝州路共社
▲娯樂世界（妖怪變化事實奇談六月號）姫路城天守の妖怪（邑井貞吉演）を始めとして講談錄共に妖怪變化の事實譚を集めたるものにして初夏の讀物として適當である（七十錢東京日本橋區檜物町共社）
▲季朝の文臣、各種の朝鮮評論（通俗朝鮮文庫第十二冊）二圓東京中澁谷道玄坂自由討究社

鮮内聯珠 通信戰譜（八四）

先 高岡 可畝（鎮南浦）
小柳 完三（釜山）
△卅二の後『いろは』の四追勝



素玄評
△七は『に』へ七と引くを常とす、十八に至る迄の彌縫術策共に力有り △小柳氏曰く、巧妙なる含追手の連發には感服の外無し卅三、卅五以後越味津々と。△黒始め組立を誤りしも却つて苦戰し面白き譜を得たり △卅二は『ほ』に兩止めを打つべし

去る十四日神主の樣な人が出雲神社のお札をすゝめに來られた時取込んでゐたのでお斷りしますと恐ろしい目で睨みつけ立去りました主婦人の不在中女子供の恐れるのみならず油斷がなりません其筋の御取締を願ひます（コワカツタ生）▲十四日の午後喜樂館に參りました時親切にして下すつた務のお嬢樣に厚く御禮申上げます（三竹生）▲明治町二元朝鮮館の跡に圖書館が出來るとの事ですが何時頃出來るでせうか（近所の者）▲圖書館と人事相談所が出來ます九日開館の豫定だそうです（係）▲○樣へ幻影の花を拜借したら御座います四五日の豫定で御返し致します（慶北迎日郡長鬐内海南美稻）▲皆さんの中に鄭井先生著『時文軌範』御不用なれば高値で讓り下さい（府内壽昌洞一八五尹泰植）▲大正館のお茶子君へお伺ひします布團代十錢出したら釣錢がないとてソレきり釣錢を與へないあゝして澤山な人を相手にすれば隨分金持になるでせうね然し我等貧困者は困りますよ（露貧生）▲太郎の十九女樣トリモチが着物に附着したら揮發油を布切れに含ませて拭へば奇麗にとれます（京城の者）トリモチの洗濯法は仁川松坂町生田紺石鹸工場の福井さんに返信料封入して直接聞いて御覧なさい私も色々の洗濯法を教へて貰ひました（教へられた生）

怖るべき痔疾

脱肛、痔瘻の重症が不治不切現狀の儘治癒せし人數千人に達せし靈妙藥

男女に拘らず痔疾なる者は初病初期に於て劇烈の苦痛を感ぜざるが故に放棄するが一般の通弊なれ共肛門部たるや人體の新陳代謝を營む處の最も重要なる排泄口なるが故に決して等閑にすべきものにあらず其放任の結果は内外痔核（一名イボ痔）痔出血、脱肛、痔瘻等に陷り腦を刺戟し心臟を弱め肺結核等を誘起し終に身體の衰弱、記憶力の減退を伴ふて知らず識らずの中に致命の原因となる最も危險なる病症なり……小松痔退治（肛門貼付藥）……最も難治の脱肛、痔瘻……此怖るべき痛苦を脱し健康の月日を愉快に活動せられん事を勸む

無代施本
『ハガキ』にて申込めば全國患者諸氏が全治實驗の諸狀を併せ本病自宅治療法を詳細説述せる小冊子を無代郵送す僅一錢五厘で健康體に復する奥義を知る事を得る後刻と云はず即座に申越して御覧あれ

◆一讀されよ 京市内各藥舗及全國各藥店に取次販賣す御求の節は必ず東京小松の痔の藥と示命を乞ふ

本舗 盛林堂 東京京橋區盛町壹番地 小松喜一郎 電話京橋二一九七番 振替東京七一二三番

本林のキナエン丸
かぜ、ねつ
まんねつ おこり
マラリヤ熱の良劑
藥價 廿五錢 五十錢 壹圓
本舗 大阪四ツ橋 本林丁子堂
至ル處ノ藥店ニアリ

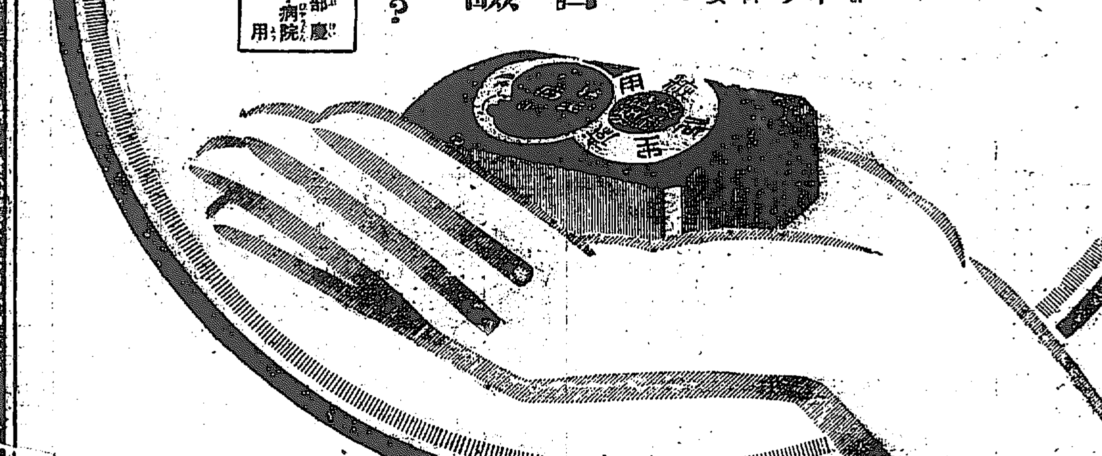
色を白くし肌を滑かにする
洗顔クリーム
發賣元 合資會社 愛久商會 東京芝區琴平町二 電話芝三三〇・八〇四
僞物あり愛久の商標に注意を乞ふ

◎夏洋服地特賣
鼠絹アルパカ 上衣一著分 一ヤル八ブ 金七圓五拾錢
脊廣白絹セル 上衣一著分 一ヤル二ブ 金八圓七拾錢
純毛ランクズボン二著分 六ヤル 金四圓八拾錢
シンネル脊廣上下一著分 六ヤル 金拾參圓五拾錢
上等本麻上下一著分
▼其他黒アルパカ・ヘヤクロース・リンネル等數十種 時價見本發送 郵券十錢封入御照會次第仕立見本と共に御贈呈可仕候
大阪淀屋橋道修町
創業明治二十八年 神谷洋服店 電話本局三七五三番 振替大阪六七二九番

第一流也
優良なる品質に於て
美味滋養の點に於て
熟成せる香氣に於て
群を抜き新時代の趣味好尚を代表する純良葡萄酒の覇王
高級甘味白葡萄酒
トミ ホワイトポート
各地著名なる食料雜貨店にあり

日本ブドウ酒株式會社製造
東京事務所 東京市芝區愛宕町三十三番地
本社工場 神奈川縣鎌倉郡戸塚町
農園工場 山梨縣北巨摩郡登美村
關西代理店 大阪 小西商店洋酒部

敢て問ふ!
皮膚は健康の入口であります 諸君にして若しその不健康を嘆ぜらるゝものあらば諸君は先づ第一にその御洗膚料を吟味さるゝの必要があります 諸君は果して
品質本位
花王石鹸
の御愛用者なりや否や?
選ばれて 帝國陸海軍 帝國大學醫學部 慶應大學醫學部 鐵道省 赤十字病院 慈惠病院 各府縣立病院 御用



花王石鹸製造元 東京馬喰町 合名會社 長瀬商會
花王石鹸關西代理店 大阪安土町 株式會社 大崎組

[illegible]は豆粕二萬六千枚、雜穀[illegible]四百五十噸、丸大材五十噸、箱材六十噸、マッチ軸木三噸、新義州より箱材[illegible]る丶事となり豐岡及船長以下船員は頓等三百噸にて就航せなりと(安東縣)

[illegible]り十九日まで三日間開放して觀て貰ひ校兒童等を合せて一千九百五十三人[illegible]一般加入者及び普通[illegible]一千五百六十四人に上り[illegible]の無理からぬ事も大に諒解したらしかつたとの事である(安東縣)

大商議船出入 大阪商船會社[illegible]六百袋、豚脂四十噸、新義州より[illegible]二千五百袋、黒糖百六十六個を搭[illegible]四百噸を新義州安東縣に搬陸し復航[illegible]

【大連】[illegible]取も至極便利に出來でゐる

機業界危機迫る

【大阪電話】財界變動以來大阪府下の機業界は大打擊を受け機業者は爾來頑張して今日まで辛うじて事業を續け來りたるが最近の不景氣に依る不況に陷りたるを以て府商工課にては數日前より事情を調査すべく係官を派遣して取調べ居たるが其の報告に依れば機業者は三割だけ織機休業を決議し又泉州の産地たる大阪は新取引皆無の狀態にして銀行の手形割引も出來ず原料仕入も頗る困難にして大阪府下の機業界は全く危機に迫り居れりと

繭價暴騰

生絲相場如何

最近内地生絲相場は連日活躍を續け將に千九百台を突破せんとする有樣にて商況逐日大口の買手筋より朝鮮の生絲先渡し取引の交渉も相當多數ある樣子にて京城、大邱を始め各地の製糸業者何れも手廻しして繭買入れに奔走中なるが此活況を見たる養蠶家は機乘ずべしとなし最近十日以來の繭相場は一石百圓以上ならでは手に入らぬの如き狀態となり此分にては二千二百三十三圓位の生絲相場現出されざる限り採算困難なりと云ふ最上白繭は石十四圓より十五圓位迄の値上を呼ぶに至りたる爲め生絲相場の好況も製絲家に取りては一寸有難迷惑の嘆きあり

鮮銀券の膨脹

鮮銀券二十日發行高は九千四百七十八萬二千餘圓にして前月に比し百二十四萬圓の增加を示し正貨準備約二百萬圓の減少となりしため限外發行は五百四十八萬九千圓の百四十餘圓增加となれるが原因は日米關係に依るもの丶如し

朝郵新航路開始

朝鮮郵船會社にては過般櫻島丸(千二百噸)を山下汽船會社より買收し安東横濱間の定期航路に使用し居れるが近く同社より更に第二南洋丸(千二百噸)を購入する由尙同社にては七月より十月迄金剛山探勝客の便を圖り城津と連絡して元山長箭間日曜航路を開始する筈なるが同航路に對し江原道廳より補助金下附あるべしと

西鮮殖鐵總會

西鮮殖産鐵道株式會社は去る二十日東拓京城支店内に於て第五回株主總會を開き[illegible]

石塚東拓總裁演說概要【一】

廿二日株主總會に於ける

二十二日東京生命保險協會に於て開會せる東洋拓殖會社第十四回定時株主總會に於ける石塚總裁の演說如左

株主各位本日第十四回定時株主總會を開くに方り御繁忙中にも拘らず御來臨を得たることを感謝す例に依り大正十年度中に於ける本社業務の成績を御報告すべし當年度の財界は依然として沈衰の狀態を脫する能はず之を當社事業地に就て見るも朝鮮に於ては米麥大豆等の農作の作柄は概して良好にして内地米作不良に因る相場の昂騰につれ取引活氣を呈し水産業の活況と相俟ちて地方經濟の復活を見るが如き多少購買力の快復を見るが如きも此現象は要するに一時的且つ局部内に留まり

財界の大勢は依然

不況に[illegible]其局面に支配され產業其他の發展の道程にありて新事業の何等見るべきものなかりしめ特産物の作柄良好と云ひ難きも南滿地方は前年に比し幾分の增收にして輸出入貿易亦九年度と大差なきも事業界は前年濫設の結果に依る會社の整理に追はれ解散又は減資を實行するに忙はしく爲めに大勢は依然沈滯の域に彷徨しつゝあり轉じて支那本部の狀況を通閱するに政爭激甚政府財政の窮乏の低落其他の事情により金融の逼迫貿易の閑散著しきものあり我對支貿易總額が九年度に比し約一億五千萬圓の減少を見たる如き事業地の低落其他の事情に因りて然るものと云ふべし事業關係地の狀況大體右の如くにして未だ容易に樂觀し難きものあるを以て當社は拓殖資金の供給に就ては所謂玉石混淆の弊に陷らざる樣注意を拂ひ倒潰を防止し我國海外發展の基礎を危うすることなからしむるの主旨に於て必要なる資金の援助供給をなすの外努めて警戒緊縮の方針を執りたり十年度末貸付金殘高は約一億一千六百六十餘萬圓にして朝鮮に於ては前年度に比し朝鮮に於て八百八十餘萬圓滿洲に於て一千五十餘萬圓支那其他に[illegible]

製糖前途【上】

恢復の見込あり

精糖は本年に入つての最低値段は廿二圓八十錢迄落ち込み昨今の廿四圓五十錢見當に比するときは一圓五十錢方下値にあつたが去る八日廿四圓五十錢以下賣止めの協定をなして以來ヂリ高步調を辿るに至つたが正廿四圓廿五錢乃至五十錢は

表面的唱値段

に過ぎずして旅の如き値段で手合せを見る時は殆ど云ふに足らざる微々たるものであるから精糖無相場と云ふを至當とする現狀である、而してこの採算は五噸十噸の手合せにすぎない狀態で[illegible]七圓廿錢を原料として精糖を製造すれば陸上費五十錢輸稅三圓十錢工賃四圓消費稅九圓合計二十三圓八十錢となり現今の相場二十四圓三十五錢の間には僅に五十五錢の開きあるのみで之れでは到底製糖會社としては原料とする場合には二十五圓六十錢となり却て一圓二十五錢方の損失を存する事となるのである、茲に於て散糖會社は約五噸方減少する事とし生産を約五噸方減少する事とし

精糖價格の恢復

を見る限り一ケ年間は之れを嚴守し各社は當局以上の生産を爲さざる事となして以て市價の恢復を策する事となつた、右の協定は去る十五日以降一齊に實行せらるゝ筈であり同時に大小に拘らず一會社と雖も此の協定に不滿を抱くものある場合には該協定は破棄せらるゝものである旨の約束があつた。

英米爲替相場

英米爲替相場四弗四五仙倫敦銀塊三六片紐育銀塊七一仙八分の三米國株式二〇一弗米綿二〇仙二〇

商品市況

綿絲布(强含み)

米綿六十錢安、銀塊一片八分の一高と材料の區々を入れ三品の保合を移し市中降雨の爲客足鈍きも相場依然として强含みに底堅し其の標準相場左の如し

粗布三エ一百七十三圓▲九龍二百六十六圓大エ一二百五十六圓▲金剛山三百三十八圓▲金閣二百十六圓

鮮魚(弱勢)

長引きの降雨に漁獲少く從つて入荷思はしからざるよりは一時の相場にて先鮮魚は二圓より四圓の品高が一時の相場にして先魚は先盛期に近くなる故自然入荷の昂騰を見たる事にしても其の成行き相場左の如し

鯛四十圓▲鯛四十五圓▲伊勢海老四十圓▲鰻二十圓▲小鯛四十五圓▲鰻六十圓▲平目十二圓▲鰆二十五圓▲はも二十圓▲すゞき二十五圓▲たこ二十五圓▲さより十五圓▲あぢ十四圓▲さば七圓▲赤えい五圓

鯨肉(漸落)

東洋捕鯨會社の四月中の朝鮮近海に於ける捕鯨成績は東海岸十七頭、西海岸二十一頭なるが鯨肉値段は暖氣强きに從ひ需要減退し漸落して十四五圓見當を唱へ居れり

皮革類(閑散)

皮革界の景況は各地の報導する所なるが最近東京の事情もの大體に於ても大口の取引のみなるが値段は引下げ相場に不良化して當地に於ても大口の取引のみなるが値段は一寸安として牛は既に下切つたる上行き先見越しては相場は相當強含み小口補充買の取引のみなるが値段は四十錢と牛革百六十五圓並底革百三十三圓表底革百八十五圓寸下切つたる如く大見越しにて多脂革百八十圓茶クロム革一圓▲白クロム革八十五錢▲黒クロム革七十五錢

新炭(軟弱)

新炭は不況期に入り相場も牛を過ぎ依然として下落の見込なきを見て一時先安見越にて買控へある所もなり一時に買ふ者續出し相場相當あり目下の處保合の姿なり而して需期にあらざるに今後出荷多きを豫想しある

株式(廿二日)

現株市場出來値

銘柄		前場 今週中	來週中	後場 今週中	來週中
京取	寄	三四、三〇	三四、五〇	…	三四、三〇
	引	三四、三〇	三六、四〇	…	三七、五〇
仁取	寄	三六、〇〇	…	…	…
	引	…	…	三六、五〇	…
同新	寄	二五、〇〇	…	…	…
鮮銀	寄	二六、五〇	…	二七、〇〇	…
同新	寄	三六、一〇	…	三五、六〇	…
朝銀	寄	四〇、五〇	…	四〇、五〇	…
同新	寄	三一、六〇	…	三一、六〇	…
殖銀	寄	四〇、〇〇	…	四〇、〇〇	…
同新	寄	三一、五〇	…	三一、五〇	…
滿鐵	寄	四〇、五〇	…	四〇、五〇	…
同新	寄	八、六〇	…	八、六〇	…
韓銀	寄	三五、七〇	…	三五、七〇	…
東拓	寄	三〇、五〇	…	…	…
同新	寄	三一、〇〇	…	三一、〇〇	…
鮮土	寄	三三、五〇	…	三三、五〇	…
朝紡	寄	一八、〇〇	…	一八、〇〇	…
絹毛	寄	六、六〇	…	六、六〇	…
京電	寄	三六、〇〇	…	三六、〇〇	…
同新	寄	二五、五〇	…	二五、五〇	…
電興	寄	九、八〇	…	九、八〇	…
朝郵	寄	一六、九〇	…	一六、九〇	…
朝鐵	寄	六、六〇	…	六、六〇	…
中鐵	寄	三三、〇〇	…	三三、九〇	…
滿鐵	寄	一〇八、〇〇	…	一〇八、〇〇	…
同新	寄	一八、〇〇	…	一八、〇〇	…
東拓	寄	三一、五〇	…	三一、五〇	…

乙の部

銘柄		前場		後場	
同新	寄	一八、〇〇	…	一八、〇〇	…
京信	寄	二六、〇〇	二六、五〇	二六、〇〇	…
京取	引	二六、五〇	…	二六、〇〇	二六、五〇
安取	寄	二六、〇〇	…	二六、五〇	…
京信	寄	二六、〇〇	二五、五〇	二六、四〇	二五、五〇
大新	寄	九六、〇〇	…	九六、五〇	…
上取	寄	四四、〇〇	…	四四、〇〇	…
新東	寄	五二、〇〇	…	五二、〇〇	…

短期取引

銘柄	寄付	大引	高値	安値
京取 前	一四三、五〇	一四三、五〇	一四三、五〇	一四三、五〇
京取 後	一三九、〇〇	一三九、〇〇	一三九、〇〇	一三九、〇〇
仁取 前	一〇〇、〇〇	九八、〇〇	一〇〇、〇〇	九八、〇〇
仁取 後	九八、〇〇	九八、〇〇	九八、〇〇	九八、〇〇
同新 寄	九八、〇〇	九八、〇〇	…	…
大新 前	九六、〇〇	九六、〇〇	九六、〇〇	九六、〇〇
大新 後	九六、〇〇	九六、〇〇	九六、〇〇	九六、〇〇

備考後場出來値は後場立會延刻の爲め掲載することを得ざるを以て前日曜日の儘とす

出來高

	前場	後場
京取 甲部	一萬三千八百五十枚	一萬四千五百二十枚
同 乙部	四千二百八十枚	三千七百二十枚
短期	六百十枚	五百六十枚
累計	一萬九千四百五十枚	一萬九千六百十三枚

	日步
京取	一〇
仁取	・

東京現株

銘柄	廿二日前場	二十日後場
鮮銀	九六、〇〇	九六、〇〇
同新	二三、〇〇	二三、〇〇
東拓	二五、五〇	二五、五〇
同新	二三、〇〇	二三、〇〇
東新	一二、八〇	一二、八〇
同新	二四、〇〇	二四、〇〇
滿鐵	一〇八、〇〇	一〇八、〇〇
同新	一八、〇〇	一八、〇〇
仁新	一八、五〇	一八、五〇
大新	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇
株	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇

大阪株式

銘柄	廿二日前場寄付	二十日後場大引
大株	二二七、七〇	二二五、九〇
同新	九七、五〇	九六、五〇
郵船	九八、八〇	…
同新	三七、八〇	…
商船	四六、七〇	四六、四〇
同新	一二、六〇	一二、六〇
鐘紡	二九五、九〇	二九三、四〇
同新	二八三、九〇	二八一、一〇
東紡	二二三、九〇	二二一、四〇
同新	…	…
東株	四九五、〇〇	四九三、〇〇
同新	二二三、〇〇	二二五、〇〇
取引	九八、一〇	九九、一〇
大毛	五〇、〇〇	四九、五〇
朝紡	一八、一〇	一八、〇〇

大阪延取引

銘柄	廿二日前場 寄付	大引
大株	二二七、六〇	二二七、〇〇
同新	九七、八〇	九七、七〇
郵船	九八、五〇	九八、二〇
同新	三七、八〇	三七、七〇
商船	…	…
鐘紡	二九五、六〇	二九四、四〇
同新	二八三、四〇	二八三、〇〇
東紡	…	…

銘柄	廿二日後場 寄付	大引
大新	九七、九〇	九七、六〇
鐘新	二九二、四〇	二九一、九〇
大株	九七、六〇	九六、七〇
天取	二九一、四〇	二九一、〇〇

安東株式

	寄付	大引
二十日後場 安取當 先	二八、六〇	二八、三〇
	二七、六〇	二七、七〇
廿二日前場 安取當 先	二九、〇〇	二九、五〇
	二八、六〇	二九、〇〇

前場人氣一轉

主力株一齊高

久しく閑散保合に經過して來た相場が一昨後場を見るに至り俄然爆發して場面の樣變りを見るに至つた此間の事情としては久しく閑散々々と云つて居た時代が即ち準備時代で其間知らず〳〵素地が作られ一進一退の間ヂリ〳〵市價を高めて來た一面に於て財界の事情としては惡材料と云ふ惡材料は既に云ひ盡され殊に最近金融の緩緩傾向はまだ事業界不振の結果として自然資金の株式化傾向となり財界一先小康狀態を呈するに至つたのと各信託會社の株式資金の融通が容易である爲めマバラ筋を始め大手筋の出動となり人氣は俄然好轉して大慘落後の相場が兎にも角にも立直り來たれるものである丈けに日曜明後に於ても持ち直し活況は如何と案ぜられたが今朝大新高を入れ更に買人氣旺盛にして京取高に連れて主力株一齊に暴騰近來稀なる盛況を呈した即ち京取今週二圓高仁取今週二十錢高短期前引値より二圓高同新今週五十錢高來週前引値より二圓高短期五圓八十錢高仁取今週二十錢高來週出來ずに短期四十錢高其他銀行諸會社株何れも保合裡に大引した

京取益々躍進

京取は一昨後場爆發の機先に今朝大新の高報を入れて人氣更に沸騰買人氣益々旺盛過般來の突込過ぎの反動高を演じた即ち今週七十四圓二十錢と高一二回九十錢の廻り四十錢所を採み一の廻り四十錢高に寄り五圓四十錢より漸騰五十錢より一の廻り十錢四十錢五十錢あり大引三十錢と押し三の廻り四十錢に寄り四十錢より三十錢と二十錢と押し一圓高大引二十錢高の廻り三十錢五十錢より三十錢より四十錢と押し二の廻り十錢四圓ドタと押し三の廻り三十錢と採げ四圓ドタと押し三圓

大新も昂騰

大新は今朝大阪の高報を入れて今週九十八錢高に寄り一本來週出來ず短期九十八圓ドタと四十錢高に寄り同事に引四十錢高

(仁川)㊅鳥居仲買店 電話六二三八番

立會延刻

前場は買人氣旺盛大和取あり正午十二時迄立會を延刻したが後場は更に立會開始時間を午後三時に延刻した

賣方追證

京取市場にては前場京取信賴品騰の結果賣方に對し後場立會前迄に追證金を納入せしめた

後場氣配强硬

立會中

京取本日受渡高

京取市場に於ける今二十二日の受渡高は株數六千六百三十五枚其金額三十一萬九千二百二十圓にして之れを前週に比すれば株數に於て二百三十枚金額に於て一萬九千八百十七圓の增加を示し之れが詳細左の如し

銘柄	株數	金額
京取	三、七五〇	二五八、七五〇
京信	一四〇	八、六八〇
同新	一、二七〇	二三、八六〇
寄信	九〇〇	一一、六〇〇
鮮銀	二〇〇	一、九四〇
同新	六〇〇	三、九四〇
殖銀	六〇〇	二、五六〇
同新	三二〇	二、八六〇
商銀	五〇	一、八〇〇
韓一	四〇〇	一、四〇〇
實銀	一〇〇	五、二〇〇
殖鐵	三〇〇	三、九〇〇
東亞	五〇	一、七五〇
京電	五〇	二、七〇〇
丸新	五〇	九一、〇〇〇
合計	六、六三五	三一九、二二〇

仁取俄然爆發

仁取新は久しく强保合を持續したが京取高に刺激せられ漸く思ひの買物殺到して今週六十五圓と六十圓五十錢高に寄り短期十九圓四十錢より二圓ドタと步み八九十錢と昂騰六十錢より二圓ドタと押し跡二十錢より三圓ドタと漸騰四圓と吹き上げ三圓五十錢と押し八九十錢より四圓ドタと々に進み五八十錢を採み四圓ドタと大引四圓三十錢高

底値四圓ドタより十錢と昂げ大引四圓と押し一圓七十錢高に大引し況を持續して居る今日の相場が依然不況を持續し自然止まる所に止まるべき疑問とする所謂同の相場であるか否かは疑問とするものであるが一般財界の要があると說くものがあった

京信昂騰

京信新は京取仁新高を現した今週十九圓十錢と七十錢高に寄り二十錢と昂り二十錢高に寄り三十錢高に一圓二十錢と引二圓二十錢と二圓六十錢高に大引四圓四十錢高

安取も昂騰

安取は諸株一齊高に連れ今週三十一圓五十錢と二圓高一本に寄り短期三十四圓三十錢と十錢高に寄り一圓ドタと二圓ドタと昂進一圓五十錢より漸落一圓ドタとなり跡三十錢高より二圓三十錢と引一圓四十錢高

奉信反動安

奉信は一昨後場爆發の機先行過ぎ思ひの賣物多く今週十八圓九十錢と一錢七十錢安に寄つたが跡漸落して四圓二十錢と引二圓三十錢安に寄り五圓ドタ六十錢と二圓ドタと採み五圓と引二圓ドタと四圓九十錢を採み二圓ドタと引二圓と四圓九十錢を採み五圓と引二圓七十

米況(廿二日)

仁川期米

前場伸び損ふ

休日前阪地の止め安に脆くも三十圓二十九錢と崩れ三十三錢と卽ち陣營の買ひに喰止めて打止めしが引跡大阪其他各地の氣配安に今朝の人氣は一二十錢安の三十四圓十四錢見當を唱へられしが立會へば大阪寄三十二圓八十五錢と二十四錢高を受けて常中出來ず先三十圓五十五錢と二十五丁高に寄付きたり

▲第二節 大阪三節六十三錢の次節高に常中出來ず休日前三十錢揃みを突込みたる目先筋の踏詰れを呼び五十九錢より六十錢と締りしが戾りは買方の手詰め急きに伸力を殺かれ五十八錢と頭打の光景に引

▲第三節 常中出來ず大阪五節五十九錢の伸惱みに五十五錢と始め押目待ち買ひに七錢と小戾しせしも跡氣迫く大阪六節五十八錢の移りに四錢と下押して引

▲第四節 當中出來ず中二十九圓五十五錢先四十四より三錢と押し四錢の持合ひに引

▲第五節 常中出來ず中五十錢先五十錢と大阪八節五十六錢移りに始めしも突込んで買る向少なく三四錢の持合ひに引

▲第六節 當中出來先五十四錢より二錢と締りしも㊎の目先手詰めに三錢と小弛みに大引せり

場面焦付く

前場寄附の模樣にては一吹きあらん勢ひであつたが戾りは買方の手詰ぎと戾り待ちの賣物に伸力を殺かれ押目は買方も之れまでの例に鑑みて自重なし無闇に突込まず返地も亦寄付一本に氣勢よく跳返したる切りにて跡は六十丁を織込まれて一層人氣沈ひに限先小相場視されて一本調子の持合襲し前場は二十五丁放れに寄付たるまゝ五十錢際に焦付いた

軟派の意見

土曜前場の阪地氣配け政府持米の拂下げ發表に嫌氣差したものだが後に至り其拂下げ米は内地米でなく外米である事分明した今朝寄付の上放れも其等の事情を含みしものなるが外米中には尙九萬石許りの外米も七萬石許り保存困難の故買米あり又之等は第一次買代への成績如何により梅雨期前に拂下げんとする方針なりとか在米過多の折柄之れが氣分は依然たる持合ひ狀を繰返し仕手を以て益々迷宮に陷らしめた丶中自ら角金融硬塞や四圍の事情より推すと日下の米が高くなる餘力あるか否か疑問で昨年の困に人氣が仕手に捕はれて各金融業者が惑思者に放任して置けば金利倉敷が嵩んで行く〳〵は共倒れとなる破滅に陷りさうな跡がある等と人期に伴ふ散賣米の流出や此の計算期に對する金融業者の態度を何に依つて一と相場は近く危れ難く感ぜしむると云はれて居る

地場正米割高

金鮮一の高堪たる大邱正米が買方の投げにより二十九圓臺に暴落し釜山又た同樣氣崩れを演じ昨日は大田三等合格釜山著の三十圓摑み以上にて買へなかりしとか又た安場所の群山は依然二十九圓七八十錢見當を彷徨して居るに拘はらず當仁川は依然三十圓五丁餘擱みに手堅く持合ひて非常な割高を感せしめて居る現下の形勢を以て推せば產地の貨物は自然仁川に集注し來る事になるであらうと

步み

	六月中限	五月末限
寄	二九、〇	九、五
	九〇	九一
	九五	九六
	九〇	…

	七月中限	六月末限
	三〇〇	九、六
	一一	一五
	一〇	二〇

外米買代へ

政府所有の外米中今回新米買代への發表せられた拂下げ期日は來る廿六日當四萬九千石の拂下げを爲すべく發表され新は東京二萬二千石大阪九千石神戸二萬石にして買上げ期日は翌二十七日場所は東京二萬四千石神戸二萬五千石で尙政府の持米中外米五萬石内地米七萬石許り保存困難のものあて

米界餘聞

休日前の引跡人氣や大阪の模樣が好かつたので今朝三十圓擱みの安配もあると思ひ込んだ阪地が二十丁高で當四丁高の三十五丁高、十四丁見來たのであつた丶め常中場も三十三丁高のの三十四丁錢も大阪の寄付した今朝先一本に二十五丁錢と寄付いた今朝日前止め一本にを二十八丁も跳返す位なら休くてよさそうな事だが仕手が却々六らうが何樣人氣と云ふ奴丈は腕力のみでは行かないのだから却々六ケ敷▲其の六ケ敷相場を六ケ敷いと見れば猫的に買込み少し跡に勢ひ付くのだから一とつへマを返すと今にも四十圓が飛び出す樣な氣踏むと相場の延が茲に地場の行つた跡許り追つ驅けるになる▲大邱の延が安いのは買方主力の三日跡から莫迦に安いのは買方主力の昨日の光成が二萬石から投退いたと云ふ事で其の光成は常盤場にも各店の手を經て小壺萬石の買建てがあつてたのは其の投げ物ではあるまいかとの臆測もある尤も眞偽は不明だが大邱の延べが暴落した爲めに南鮮地方からは頻りに賣物を注いで來る氣味があるとか

京城穀物

正米現物

期米の形勢混沌に双方兎角見送り勝にて孰宅接々しからず相場は三等合格川十圓三十錢排擢上玄二十一圓二十錢並二十八圓二十錢の持合なるも買人附値安の傾きある丈け底意は何となく軟調を帶びつゝあり

延

期米の伸力を鈍調と現物の無氣力に硬軟氣迷ひを深かめ今朝は各期一二十丁の下値に寄付跡三丁の間を採みて氣乘らず多く手任舞商內のみに終りたり

步み

	六月中限	五月末限
寄	九、一	九五
	九〇	九九〇
	九一	九五

	七月中限	六月末限
	三〇〇	二九九〇
	一二	〇三
	一	一〇

廿日午後

	六月中限	五月末限
	八五	八〇
	九二	九五

差引殘高

	賣方	買方
㊀	三二〇〇	一〇〇〇
㊦	一三〇〇	一三〇〇
㊈	一六〇〇	八〇〇
㊀	一一〇〇	一二〇〇
㊂	一五〇〇	一三〇〇
㊄	一二〇〇	一三〇〇
㊁	一一〇〇	四一〇〇
㊆	二四〇〇	一三〇〇
㊇	二〇〇〇	一〇〇〇
㊈	一〇〇〇	一四〇〇
丸	…	二七〇〇
カ	…	四〇〇

之等は第一次買代への成績如何によつて梅雨期迄に買替へを實行する方針であると

後場も焦付

▲第一節 常中出來ず三十圓六十錢と寄付き▲第二節 當中出來ず先五十錢より三錢と締り一錢引▲第三節 當二十九圓三十錢の寄止め中出來ず先五十一錢より二錢を高値に四十九錢を安值とし五十一錢引▲第四節 常中出來じ先五十五錢上り四錢と押したるも大阪の止め高暸り七錢と締り六錢と釘付に〇引せり

前場公定値

	中限	先限
寄付	三〇、五五	三〇、五五
止値	三〇、五五	三〇、六〇
高値	三〇、六〇	三〇、五〇
安値	三〇、五〇	三〇、五〇

節	前場	廿二日後場
一節	三〇、五五	三〇、五八
二節	三〇、五五	三〇、五一
三節	三〇、五六	三〇、五〇
四節	三〇、五四	三〇、五九
五節	三〇、五三	三〇、六七
六節	三〇、五四	三〇、六七

▲後場公定値

	常限	中限	先限
取組高	三〇、四八	三〇、四九	三〇、五〇
出來高	十一萬八千石	一萬八千石	一千二百石
累計	十三萬八千石	二萬五千八百石	

仁川正米

六月末限二九、九七、八 九六、九五 九八 ▲七三 ▲七月中限二九九七

定期の一服風情に聲氣を强めしめたる正米は今朝買人卅圓三十錢見當を唱へしも手持筋は五十錢を主張して遂に讓らず四十五錢にて若干の取引行はれたる模樣にて日出稻は廿九圓九十五錢の見當を唱へ粟は水原物八錢九厘處にて沸々精米筋に買望まれ大豆は龍山十六圓六十五錢長湍十圓五十錢見當なり

釜山正米

五月末限三十圓三十錢四より三十錢六月中限三十圓五十四錢六月末限三十圓八十四錢より七十二錢七月中限三十圓九十八錢より八十五錢

群山正米

五月末限二十九圓七十五錢六月中限二十九圓八十五錢より八十八錢同末限三十圓十錢より〇八錢七月中限三十四十八錢より三十錢現物二十九圓六十錢(二十二日)

大邱正米

六月末限二十九圓九十三錢より七十五錢七圓中限三十圓〇八錢より〇二錢(二十二日)

東京期米

	廿二日前場先限	廿二日後場先限
寄付	三四、二七	三四、三〇
二節	四一	三三
三節	四九	三二
四節	四四	三〇
五節	四〇	三〇
六節	四〇	…

(仁川米豆取引所仲買人)㊅仲買店　店主 堆　電話 一三三 一二二 八〇一番

大阪期米

	廿二日前場	廿二日後場
當寄	三三、四九	三三、四九
止め	三三、四九	三三、五一
中寄	三三、五〇	三三、五二
止め	三三、五七	三三、五六
先寄	三三、五五	三三、六〇
二節	三三、五八	三三、五九
三節	六二	五一
四節	六三	五〇
五節	五九	五一
六節	五八	五九
七節	五七	六五
八節	五六	…
九節	五七	…
十節	六三	…

兵庫期米

	廿二日前場	廿二日後場
寄付	三三、二九	三三、二九
止め	三三、四二	…

〇 桑野仲買店　仁川府海岸町三丁目　電話長三九番

下關期米

	廿二日前場	二十日後場
當限 寄	止	寄付
中限	三三、五三	三三、五三
先限	三三、五三	三三、六〇

各地期米

	二十日後場止め	
東京	…	大阪 三三、六二
兵庫	三三、二一	下關 三三、二三
桑名	三一、七〇	名古屋 三三、一三
熊本	三四、四三	金澤 三一、〇五

大阪三品

	廿二日前場寄付	前場大引
五月限	三五、〇〇	三五、〇〇
六月限	三四、七〇	三四、八〇
七月限	三三、八〇	三三、八〇
八月限	三三、一〇	三三、〇〇
九月限	三二、七〇	三二、六〇
十月限	三二、六〇	三二、六〇

紺地絣 一反の只三圓均一

東京市日本橋區本石町二丁目 服部屋綿谷商店にては今回染色保險地質强固柄風新進奇拔なる等木場久留米絣に負けぬ紺地絣の逸品を一反只の三圓均一にて賣出す由又染絣は紺色でも白色でも三反組合せ五圓五十錢均一にて提供する由蓋し近來になき掘出し物也反數に限りあり賣り切れぬ内男女の別年齡を記し今直ハガキで申込まれたし

島田藥學博士方劑 わきが

▲治療法無代進呈 正四位勳三等醫學博士島田耕一先生と當院長との合議を以て御處方になりし、わきが全治藥はありふれた一時押へ の藥とは全然ちがひ[illegible]

安心して一日も早く全快なさい、ハガキで申込めば治療法を詳しく御報せいたします 東京市麻布區富士見町七番地 電話芝五〇八〇番 愛生堂醫院

腦病專門

のぼせ てんかん きちがい ちのみち 其他腦病全般の診療に應ず

毎日午前七時より 京城本町三丁目 森川米吉方にて 五月二十日より廿六日迄診療す 豐前國築上郡三毛門村 内丸腦病院出張 追て來る五月廿八日より四日間釜山本局前松井旅館にて診療す

競爭入札 購買 遞信局

一、郵便用紙二十號乙外八點 詳細五月廿三日ノ本府官報ニ在

大根種 各種 秋蒔種子定價表進呈 岐阜市元町二丁目 種重

耳の病 耳だれ 耳鳴 中耳炎 耳遠き

慢性困難の人も非常によくきく藥を返信料二錢封入申込有れば詳しく報す 播州明石市相生町 ㊣ヒヨウタンヤ

赤鼻 アカハナ

如何程困難の方も効能正しき良藥有り申込有れば無代にて報す藥入用の方は五拾錢切手添申込次第直に送附す 播州明石市相生町 森末博藥院

工事入札公告

三坂小學校運動場擴張及第二高等女學校敷地地均工事 右來五月二十五日前十一時入札 詳細ハ當組合門前ニ揭示ス 京城學校組合

鯨 尾羽毛 赤肉 尾羽 畝須 專業問屋 (製造販賣元) (鯨油鯨粉類) 下關市中町 ㊄ 平井虎一商店

櫻正宗 サクラマサムネ 櫻魂 サクラタマシ

造元 山邑酒造株式會社 兵庫縣御影魚崎 發賣元 山邑酒造株式會社 京城支店 京城明治町一丁目

白ゴム靴 各種ゴム靴 特約販賣 値段表進呈 神戶市三宮町一丁目鯉川筋 日榮商會ゴム部 電話長三二七一番 振替大阪[illegible]番

胃腸藥 ゴルフ 消化劑 高橋博士監製 各家庭常備藥 食後に! 病後に! 保健に! 定價 廿五錢 七十錢 一圓 (各藥店に有り) 東京 泰昌製藥株式會社 室町

さした一滴きゝめ一番 一滴 目藥 シュマズ イタマズ

眼病一切特にトラホームに大効あり 大阪、東京、上海 本舖 高橋盛大堂藥局 到る所の藥店に販賣す

毛をはやす博士の藥

毛生へ藥フミナインは皮膚科專門大家田中醫學博士の發見せられたる我國唯一の名譽ある專門藥なればありふれた藥と違ひ禿頭病、禿頭、種々の脫毛及薄毛、皮膚病等に効能あり 毛生へ藥の[illegible]

毛はへ藥 ミナフイン

又は不恰好な人男女ある可き所に毛なき人又は薄き人其他毛の不足や不恰好に用ひて奇妙に毛をはやし脫け毛を止むる新良藥なり

定價五十錢 九十錢 一圓六十錢 ◎全國各藥店にあり品切の節は代金を添へ左記發賣元へ御註文を乞ふ

發賣元 東京 東京芝區田村町十八 振替東京三一八三 電話芝一八七 大阪 東京藥 大阪市老松町三の六 振替大阪五一二〇 電話北一五一 ◉詳細說明書申込次第

日本の二大名藥

胃病に胃活　眼病にロート

五大軍醫合議製劑
醫學博士 帖佐彦四郎先生推奬

胃病は萬病の基なり

胃が丈夫であれば人間の病氣の百分の九十を豫防する事が出來るとは、一般醫學界の定說であつて斯界の泰斗ボアース博士が『胃病は萬病の基なり』と言はれたのは誠に至言である。この恐るべき胃病は一日も早く治さねば遂に取り返しのつかぬ事となるから。ハテ胃が惡いと氣が附いたら直ぐ有名な胃活を服んで根本的にお治しあれ。

胃活の特色

胃活は五大軍醫の合議製劑で最近醫學博士帖佐彦四郎先生が『配劑宜しきを得、胃の諸症に對して顯著なる効能あり』と賞讃せられたのである。

（一）胃活は胃病の特効藥のみを配合してあるから容量少くして効力は偉大である

（二）胃活は一時の消化藥に非ずして根本的の健胃劑である……故に

（三）持藥として用ゆるも後に害を殘さない

◎藥は必ず思ひ立たる時買ひ給へ
◎全國何處の藥店にも販賣す

定價　壹圓　五拾錢　參拾錢　貳拾錢

シマズ　イタマヌ
井上博士ノ
ロート目藥

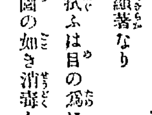
ロート目藥の特色

（一）ロート目藥は眼科を以て有名なる東京眼科病院長獨國醫學博士井上豐太郎先生の處方に係り大前藥學士の鑑査を經たる故患者は信賴して用ふることを得

（二）シマズ、イタマズ而も効能顯著なり

（三）病眼を不潔の手、布等にて拭ふは目の爲に惡し故にロート目藥には下圖の如き消毒したる布を添ふ

（四）點眼器は先の尖りたるは目の爲に危險なりロート目藥の點眼器は先を丸くしたる故危險の虞なし



定價　德用　壹圓　大瓶　五十錢　中瓶　三十錢　小瓶　二十錢

胃活
ロート目藥　本舖

東京市日本橋區本銀町三丁目
大阪市東區南久寶寺町二丁目

電話（本局一〇九七番 本局二九〇三番）
電話（船場三二八〇番 船場四五四〇番）

山田安民藥房